

第2章 調査の結果

第1部 連携状況調査

I 第1部設定の理由

本県では、これまでも平成17年度の「学校と地域の協働による教育活動推進に関するアンケート調査」をはじめとして、学校支援ボランティア活動の実態に関する様々な調査を行ってきたが、今回は、ボランティアに限定せず、さらに幅広い視点で学校と地域の関係を調査することとした。また、調査内容についても、一步踏み込み、学校が誰から支援を受けているのかについても調査することとした。

《支援をする側の分類》

- 1 保護者（PTA）
- 2 地域住民（個人）
- 3 地域住民（団体）
- 4 官公庁
- 5 企業・農協・漁協・商工会

II 設問項目の設定

回答方法を自由記述にした場合、同様な取組であっても、回答者の表現に大きく左右され、集計に多大な労力を要することから、選択式とした。

設問項目実績事例の設定に当たっては、各教育事務所社会教育担当者、市町村派遣社会教育主事、県教育庁学校教育課指導主事等に、各自の経験や見聞きした実践事例をあげてもらい、さらに平成19年度に実施した「活動ボランティアとその支援内容」についての各校からの回答結果を重ね合わせて設定した。

III 設問項目

設問を下記のとおり分類した。ある程度教科に合わせた分類としたが、複数の分野にまたがる取組も多く、分類を徹底すると同じ取組を再掲することが多くなることから、重複しないよう心がけた。

《設問の分野》 ※設問の詳細は、第4章調査資料、調査様式参照。

- 1 国語・総合
- 2 算数・総合
- 3 理科・環境・総合
- 4 社会・総合
- 5 体育・保健
- 6 音楽
- 7 図画工作・美術
- 8 家庭・生活
- 9 道徳
- 10 国際理解
- 11 農業体験・生活・総合
- 12 文化

- 13 校外学習
- 14 職場体験・勤労
- 15 昔の暮らし・生活・総合
- 16 郷土芸能・総合
- 17 福祉・総合
- 18 放課後等学習
- 19 学習その他
- 20 読み聞かせ・図書館支援
- 21 クラブ・部活動、総合等（文化活動）の指導
- 22 クラブ・部活動等（スポーツ）の指導
- 23 環境整備
- 24 登下校・交通安全・防災指導
- 25 学校行事・特別行事
- 26 特別支援
- 27 その他
- 計 238設問
- 28 自由記述

IV 集計結果と分析

1 地域との連携、協力を得て実施している取組

(1) 集計結果

地域と連携したり、地域の協力を得て実施している取組について、実施率の高いものをあげてみる。それぞれの内容について、小学校上位100、中学校は上位50、高等学校は上位50、特別支援学校は上位40をあげる。（それぞれ実施率10%以上の取組となる。）

※実施率の母数は、小学校364校、中学校170校、高等学校71校、特別支援学校19校

《 小学校 》 表1-1 地域との連携がある取組—小学校

順位	内 容	実施数	実施率
1	運動会の運営の手伝い	295	81%
2	登下校の指導・安全確保	270	74%
3	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	268	74%
4	学区内安全パトロール	261	72%
5	社会科見学(公共施設、工場、議会等)	256	70%
6	読み聞かせ	252	69%
7	避難訓練(地震・火災・不審者)の支援	229	63%
8	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	226	62%
9	花壇整備	222	61%
10	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	205	56%
11	野球	199	55%
11	大会及び練習試合等の選手移動	199	55%
13	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	196	54%
14	社会科の暮らし(税金、裁判所、消防等)の講師	193	53%
14	スキー・スケートの実技指導	193	53%
16	校外学習の引率・補助	186	51%

順位	内 容	実施数	実施率
17	野菜作り(耕作、植え付け、除草、収穫)の指導、支援	175	48%
17	新入生の下校指導	175	48%
19	収穫祭、餅つきの手伝い	174	48%
19	グラウンド、球場等の整備(除草、校庭のローラーがけ等)	174	48%
21	学校畑の耕作、植え付け、除草、収穫	169	46%
22	ベルマークの集計	165	45%
23	英会話の指導補助	161	44%
23	学校田における田植え、除草、収穫等の指導	161	44%
25	冬の登下校の除雪、安全確保	159	44%
26	危険箇所の立て看板の設置	150	41%
27	国際交流・国際理解の講師	147	40%
28	調理指導(お菓子、郷土料理等)	144	40%
29	昔の遊び(お手玉、あやとり、おはじき、けん玉等)の指導	142	39%
30	田んぼの提供	141	39%
31	社会科教材 「昔の道具」などの収集・提供	140	38%
31	もちつき大会	140	38%
33	庭木の剪定、防虫剤散布	127	35%
33	宵宮巡回	127	35%
35	あいさつ運動	126	35%
36	側溝の清掃、消毒	124	34%
37	お年寄りとの交流の際の支援	120	33%
38	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	115	32%
39	校舎の窓ふき、清掃	112	31%
40	人権教室の講師	111	30%
41	福祉施設との交流の際の支援	109	30%
42	バスケットボール	102	28%
43	虫菌予防・歯磨き指導教室の講師	100	27%
44	総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	99	27%
45	学校保健委員会の講師(おやつの正しいとり方等)	98	27%
46	高齢者疑似体験の際の指導	92	25%
47	図書室の環境整備	89	24%
48	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	86	24%
48	図書のリフォーム・修理	86	24%
50	人工呼吸、心肺蘇生法、応急処置の指導	85	23%
50	校舎・施設の補修	85	23%
52	バケツ稲の指導	82	23%
52	卓球	82	23%
54	地域の郷土史の講師	79	22%
54	健康を害すること(喫煙・飲酒等)の防止啓発の講師	79	22%
56	伝統芸能(神楽、獅子舞、えんぶり)の指導	78	21%
57	マラソン大会のコース警備	77	21%
58	音読学習の聞き役	73	20%
59	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	70	19%

順位	内 容	実施数	実施率
60	自然環境調査(水、河川、浄化)の講師	67	18%
60	図書の登録・貸出	67	18%
62	ジャガイモの種芋の植え付け、収穫の指導、支援	66	18%
62	りんご栽培、収穫などの指導、講師	66	18%
64	サッカー	65	18%
64	児童・生徒による清掃活動の支援	65	18%
66	下水処理の啓蒙指導	62	17%
67	郷土芸能(手踊り、〇〇音頭)の指導	60	16%
67	運動会での全校遊技の指導補助	60	16%
69	エネルギー(新エネルギー含)教室の講師	58	16%
69	プール安全指導	58	16%
69	手話、点字体験の際の指導	58	16%
72	音楽鑑賞会の講師	56	15%
72	学校の施設設備遊具等の維持管理	56	15%
74	昔の生活と暮らしの講師	55	15%
75	スキー	54	15%
75	陸上競技大会会場づくり、運営支援	54	15%
77	戦中、戦後体験談の講師	52	14%
77	伝統芸能の着付けの手伝い	52	14%
79	水泳実技指導	50	14%
80	校舎内に花を飾る	49	13%
81	水産業学習の講師	46	13%
81	茶道	46	13%
83	プールの清掃、塗装	45	12%
84	職業人、社会人による講話	44	12%
84	昔の道具づくり(わら細工、縄ない、ほうき)の講師	44	12%
86	地域の企業による学習支援	43	12%
86	リンゴの木の提供	43	12%
86	動物飼育活動(ウサギ、ニワトリ等)の指導	43	12%
86	町民スキー大会(学校行事) スキー、テント等の運搬、豚汁づくり	43	12%
90	縄文・弥生時代の学習についての講師	42	12%
90	薬物乱用防止教室の講師	42	12%
92	環境学習(産廃)の講師	41	11%
92	校庭芝生整備	41	11%
92	スキー大会の運営支援	41	11%
95	植物観察の指導	39	11%
95	学童クラブにおける家庭学習の支援	39	11%
95	親子健康づくり教室の講師	39	11%
98	伝承工芸(しめ縄、祝い亀づくり等)の指導	38	10%
98	詩の朗読、人形劇、紙芝居等	38	10%
98	ソフトボール	38	10%
98	雪囲い作業	38	10%

《 中学校 》 表1-2 地域との連携がある取組—中学校

順位	内 容	実施数	実施率
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	144	85%
2	薬物乱用防止教室の講師	107	63%
3	宵宮巡回	93	55%
4	学区内安全パトロール	91	54%
5	花壇整備	86	51%
6	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	85	50%
6	大会及び練習試合等の選手移動	85	50%
8	避難訓練(地震・火災・不審者)の支援	84	49%
8	運動会の運営の手伝い	84	49%
10	登下校の指導・安全確保	69	41%
11	乳幼児とのふれあい学習の際の支援	63	37%
11	グラウンド、球場等の整備(除草、校庭のローラーがけ等)	63	37%
13	人工呼吸、心肺蘇生法、応急処置の指導	61	36%
14	職業人、社会人による講話	59	35%
15	健康を害すること(喫煙・飲酒等)の防止啓発の講師	58	34%
16	野球	56	33%
17	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	55	32%
18	バレーボール	53	31%
18	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	53	31%
20	バスケットボール	50	29%
21	ソフトテニス	48	28%
22	あいさつ運動	43	25%
23	福祉施設との交流の際の支援	42	25%
24	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	41	24%
24	卓球	41	24%
26	校舎・施設の補修	39	23%
27	剣道	37	22%
27	庭木の剪定、防虫剤散布	37	22%
29	お年寄りとの交流の際の支援	36	21%
30	不登校傾向生徒への相談活動及び学習支援	34	20%
31	ソフトボール	33	19%
32	伝統芸能(神楽、獅子舞、えんぶり)の指導	32	19%
32	陸上	32	19%
32	サッカー	32	19%
35	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	30	18%
36	高齢者疑似体験の際の指導	29	17%
36	側溝の清掃、消毒	29	17%
36	吹奏楽定期演奏会(会場準備、整理、支援)	29	17%
39	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	28	16%
40	調理指導(お菓子、郷土料理等)	27	16%
40	卒業生による進路講演会の講師	27	16%
40	冬の登下校の除雪、安全確保	27	16%
43	校舎内に花を飾る	24	14%

順位	内 容	実施数	実施率
43	危険箇所の立て看板の設置	24	14%
45	社会科見学(公共施設、工場、議会等)	23	14%
45	英会話の指導補助	23	14%
45	総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	23	14%
48	虫歯予防・歯磨き指導教室の講師	21	12%
49	もちつき大会	18	11%
50	道徳の時間の説話	17	10%
50	野菜作り(耕作、植え付け、除草、収穫)の指導、支援	17	10%
50	校外学習の引率・補助	17	10%
50	郷土芸能(手踊り、〇〇音頭)の指導	17	10%
50	吹奏楽	17	10%
50	校舎の窓ふき、清掃	17	10%
50	児童・生徒による清掃活動の支援	17	10%

《 高等学校 》 表1-3 地域との連携がある取組—高等学校

順位	内 容	実施数	実施率
1	薬物乱用防止教室の講師	60	85%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	60	85%
3	人工呼吸、心肺蘇生法、応急処置の指導	50	70%
3	職業人、社会人による講話	50	70%
5	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	47	66%
6	避難訓練(地震・火災・不審者)の支援	46	65%
7	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話対応等)の指導	44	62%
8	あいさつ運動	36	51%
9	企業の人事担当者等による進路説明会	32	45%
10	金融教育、金銭教育の講師	29	41%
10	茶道	29	41%
10	野球	29	41%
10	登下校の指導・安全確保	29	41%
14	卒業生による進路講演会の講師	27	38%
15	宵宮巡回	25	35%
16	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	24	34%
17	生け花・華道	23	32%
17	バレーボール	23	32%
17	バスケットボール	23	32%
20	福祉施設との交流の際の支援	20	28%
20	お年寄りとの交流の際の支援	20	28%
22	サッカー	18	25%
23	スキー・スケートの実技指導	17	24%
23	調理指導(お菓子、郷土料理等)	17	24%
25	各教科の授業の中でのキャリア教育	16	23%
25	バドミントン	16	23%

順位	内 容	実施数	実施率
25	陸上	16	23%
28	社会科の暮らし(税金、裁判所、消防等)の講師	15	21%
28	剣道	15	21%
30	茶道教室の講師	14	20%
30	道德、特別活動等の時間におけるキャリア教育	14	20%
30	各界の経営者による講話	14	20%
30	職業に関する授業の講師	14	20%
30	花壇整備	14	20%
30	学区内安全パトロール	14	20%
30	大会及び練習試合等の選手移動	14	20%
37	不登校傾向生徒への相談活動及び学習支援	13	18%
38	英会話の指導補助	11	15%
38	国際交流・国際理解の講師	11	15%
38	卓球	11	15%
38	ソフトテニス	11	15%
42	地域の郷土史の講師	10	14%
42	健康を害すること(喫煙・飲酒等)の防止啓発の講師	10	14%
42	乳幼児とのふれあい学習の際の支援	10	14%
42	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	10	14%
42	吹奏楽部	10	14%
42	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	10	14%
42	教習所を使った交通安全教室の実施	10	14%
49	社会科見学(公共施設、工場、議会等)	9	13%
49	高齢者疑似体験の際の指導	9	13%
49	ねぶた運行の安全確保	9	13%

《 特別支援学校 》 表1-4 地域との連携がある取組－特別支援学校

順位	内 容	実施数	実施率
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	17	89%
2	避難訓練(地震・火災・不審者)の支援	13	68%
3	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	11	58%
4	英会話の指導補助	10	53%
5	社会科見学(公共施設、工場、議会等)	9	47%
6	卒業生による進路講演会の講師	8	42%
7	花壇整備	7	37%
7	運動会の運営の手伝い	7	37%
7	ベルマークの集計	7	37%
10	虫歯予防・歯磨き指導教室の講師	6	32%
10	人工呼吸、心肺蘇生法、応急処置の指導	6	32%
10	国際交流・国際理解の講師	6	32%
10	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	6	32%
14	職業人、社会人による講話	5	26%

順位	内 容	実施数	実施率
14	読み聞かせ	5	26%
14	校舎の窓ふき、清掃	5	26%
17	音楽鑑賞会の講師	4	21%
17	もちつき大会	4	21%
17	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	4	21%
20	学校田における田植え、除草、収穫等の指導	3	16%
20	田んぼの提供	3	16%
20	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話対応等)の指導	3	16%
20	昔の遊び(お手玉、あやとり、おはじき、けん玉等)の指導	3	16%
20	卓球	3	16%
20	側溝の清掃、消毒	3	16%
20	登下校の指導・安全確保	3	16%
27	社会科教材「昔の道具」などの収集・提供	2	11%
27	縄文・弥生時代の学習についての講師	2	11%
27	スキー・スケートの実技指導	2	11%
27	プール安全指導	2	11%
27	調理指導(お菓子、郷土料理等)	2	11%
27	野菜作り(耕作、植え付け、除草、収穫)の指導、支援	2	11%
27	りんご栽培、収穫などの指導、講師	2	11%
27	収穫祭、餅つきの手伝い	2	11%
27	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	2	11%
27	職業に関する授業の講師	2	11%
27	図書の登録・貸出	2	11%
27	琴	2	11%
27	校舎内に花を飾る	2	11%
27	校庭芝生整備	2	11%
27	学芸会・学習発表会会場整理、劇上演指導支援	2	11%

(2) まとめ

地域との連携がある取組の実施率が50%以上となっているのは、小学校では運動会の運営の手伝い、登下校の指導・安全確保、交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)、学区内安全パトロール、社会科見学(公共施設、工場、議会等)、読み聞かせ、避難訓練(地震・火災・不審者)の支援、通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)、花壇整備、校舎周辺の除草・落ち葉清掃、野球、大会及び練習試合等の選手移動、再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力、社会科の暮らし(税金、裁判所、消防等)の講師、スキー・スケートの実技指導、校外学習の引率・補助の16の取組であった。

中学校では、職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ、薬物乱用防止教室の講師、宵宮巡回、学区内安全パトロール、花壇整備、校舎周辺の除草・落ち葉清掃、大会及び練習試合等の選手移動の7つの取組であった。

高等学校では、薬物乱用防止教室の講師、職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ、人工呼吸・心肺蘇生法・応急処置の指導、職業人・社会人に

よる講話、交通安全教室（交通安全紙芝居、自転車の乗り方）、避難訓練（地震・火災・不審者）の支援、ビジネスマナー（挨拶、立ち振る舞い、電話応対等）の指導、あいさつ運動の8つの取組であった。

特別支援学校では、職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ、避難訓練（地震・火災・不審者）の支援、交通安全教室（交通安全紙芝居、自転車の乗り方）、英会話の指導補助の4つの取組であった。

小学校においては、安全確保や環境整備、学校行事、校外学習等の運営支援に地域の力が必要とされている。中学校においては、勤労体験学習、安全面での生徒指導、環境整備、部活動支援があげられている。高等学校では、社会人になるための学習、特別支援学校では、勤労体験学習、安全確保などに地域の力が活用されている。

2 保護者からの支援・協力を得て実施している取組

(1) 集計結果

保護者からの支援・協力を得ている取組について実施数の高いものをあげてみる。小学校、中学校とも上位30。

《 小学校 》 表1-5 保護者からの支援・協力を得て実施している取組—小学校

順位	内 容	実施数
1	運動会の運営の手伝い	292
2	登下校の指導・安全確保	200
3	大会及び練習試合等の選手移動	197
4	花壇整備	193
5	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	188
6	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	187
7	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	180
8	校外学習の引率・補助	178
9	学区内安全パトロール	176
10	ベルマークの集計	165
11	グラウンド、球場等の整備(除草、校庭のローラーがけ等)	162
12	収穫祭、餅つきの手伝い	157
13	野球	153
14	新入生の下校指導	148
15	危険箇所の立て看板の設置	133
16	もちつき大会	131
17	側溝の清掃、消毒	119
18	学校畑の耕作、植え付け、除草、収穫	115
19	スキー・スケートの実技指導	114
20	宵宮巡回	112
21	読み聞かせ	109
22	冬の登下校の除雪、安全確保	106
23	あいさつ運動	103
24	野菜作り(耕作、植え付け、除草、収穫)の指導、支援	102
25	校舎の窓ふき、清掃	96
26	庭木の剪定、防虫剤散布	88

27	学校田における田植え、除草、収穫等の指導	85
28	マラソン大会のコース警備	72
29	音読学習の聞き役	69
30	バスケットボール	68

《 中学校 》 表1-6 保護者からの支援・協力を得て実施している取組－中学校

順位	内 容	実施数
1	宵宮巡回	90
2	大会及び練習試合等の選手移動	85
3	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	81
3	運動会の運営の手伝い	81
5	花壇整備	79
6	学区内安全パトロール	69
7	グラウンド、球場等の整備(除草、校庭のローラーがけ等)	56
8	登下校の指導・安全確保	53
9	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	40
10	吹奏楽定期演奏会(会場準備、整理、支援)	29
11	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	28
11	側溝の清掃、消毒	28
11	あいさつ運動	28
14	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	27
15	庭木の剪定、防虫剤散布	25
16	校舎・施設の補修	23
17	野球	20
18	もちつき大会	17
19	マラソン大会のコース警備	16
20	校外学習の引率・補助	15
20	総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	15
20	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	15
23	冬の登下校の除雪、安全確保	14
24	バレーボール	13
24	校舎の窓ふき、清掃	13
26	ソフトボール	12
26	校庭芝生整備	12
26	危険箇所の立て看板の設置	12
29	卓球	11
29	ソフトテニス	11
29	学校畑の耕作、植え付け、除草、収穫	11
29	雪囲い作業	11
29	親子遠足の運営手伝い	11

(2) まとめ

地域との連携がある取組(実施率50%以上)の中で、小学校では保護者からの支援・協力を得ている割合が高いものは、運動会の運営の手伝い、登下校の指導・

安全確保、大会及び練習試合等の選手移動、花壇整備、校舎周辺の除草・落ち葉清掃、通学路の安全確保等の支援（街頭指導など）、再生資源回収（空きびん、空き缶、古新聞）への協力、校外学習の引率・補助、学区内安全パトロールの9つの取組であった。

中学校では、宵宮巡回、大会及び練習試合等の選手移動、校舎周辺の除草・落ち葉清掃、花壇整備、学区内安全パトロールの5つの取組であった。

小学校においては、学校行事支援、児童の安全確保、部活動支援、環境整備、学校行事、校外学習等の運営支援に保護者が支援している。中学校においては、安全面での生徒指導、部活動支援、環境整備があげられている。

3 地域住民（個人・団体）からの支援・協力を得て実施している取組

(1) 集計結果

連携のある取組の中から、地域住民（個人・団体）から支援・協力を得ている取組について実施数の多いものをあげる。小学校、中学校とも上位30。

《 小学校 》 表1-7 地域住民（個人・団体）からの支援・協力を得て実施している取組—小学校

順位	内 容	実施数	個人	団体
1	登下校の指導・安全確保	210	87	123
2	読み聞かせ	209	86	123
3	学区内安全パトロール	204	75	129
4	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	147	51	96
5	昔の遊び(お手玉、あやとり、おはじき、けん玉等)の指導	146	94	52
6	学校田における田植え、除草、収穫等の指導	133	96	37
7	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	122	97	25
8	スキー・スケートの実技指導	118	71	47
9	田んぼの提供	117	102	15
10	収穫祭、餅つきの手伝い	116	78	38
11	野球	110	102	8
12	冬の登下校の除雪、安全確保	94	62	32
13	野菜作り(耕作、植え付け、除草、収穫)の指導、支援	92	82	10
13	新入生の下校指導	92	32	60
15	伝統芸能(神楽、獅子舞、えんぶり)の指導	85	34	51
15	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	85	56	29
15	もちつき大会	85	51	34
18	調理指導(お菓子、郷土料理等)	84	46	38
19	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	80	63	17
20	学校畑の耕作、植え付け、除草、収穫	77	66	11
21	お年寄りとの交流の際の支援	75	18	57
21	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	75	12	63
23	あいさつ運動	74	26	48
24	バスケットボール	68	64	4
24	花壇整備	68	39	29
26	卓球	65	54	11
27	運動会の運営の手伝い	60	23	37
28	人権教室の講師	59	9	50

28	郷土芸能(手踊り、〇〇音頭)の指導	59	35	24
30	地域の郷土史の講師	58	51	7

《 中学校 》 表1-8 地域住民(個人・団体)からの支援・協力を得て実施している取組—中学校

順位	内 容	実施数	個人	団体
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	137	59	78
2	学区内安全パトロール	49	12	37
3	バレーボール	45	44	1
4	野球	44	42	2
5	職業人、社会人による講話	42	32	10
5	バスケットボール	42	42	0
7	ソフトテニス	40	39	1
8	剣道	36	31	5
9	伝統芸能(神楽、獅子舞、えんぶり)の指導	35	11	24
10	卓球	33	33	0
11	登下校の指導・安全確保	32	10	22
12	乳幼児とのふれあい学習の際の支援	31	11	20
13	陸上	30	29	1
14	福祉施設との交流の際の支援	28	1	27
15	サッカー	27	26	1
16	卒業生による進路講演会の講師	26	26	0
16	通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)	26	8	18
18	調理指導(お菓子、郷土料理等)	23	13	10
18	宵宮巡回	23	6	17
20	お年寄りとの交流の際の支援	22	1	21
20	ソフトボール	22	22	0
22	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	21	17	4
22	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	21	5	16
22	あいさつ運動	21	5	16
25	校舎内に花を飾る	20	19	1
26	校舎周辺の除草、落ち葉清掃	19	15	4
26	校舎・施設の補修	19	14	5
28	郷土芸能(手踊り、〇〇音頭)の指導	18	11	7
29	再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力	17	12	5
30	野菜作り(耕作、植え付け、除草、収穫)の指導、支援	15	11	4
30	高齢者疑似体験の際の指導	15	0	15
30	相撲	15	12	3
30	庭木の剪定、防虫剤散布	15	13	2
30	運動会の運営の手伝い	15	10	5

(2) まとめ

地域との連携がある取組(実施率50%以上)の中で、地域住民・団体からの支援・協力を得ている割合が高いものは、小学校では登下校の指導・安全確保、読み聞かせ、学区内安全パトロール、通学路の安全確保等の支援(街頭指導など)、再生資源回収(空きびん、空き缶、古新聞)への協力、スキー・スケートの実技指導、

の6つの取組であった。

中学校では、職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ、学区内安全パトロールの2つの取組であった。

小学校においては、児童の安全確保、読み聞かせ、再生資源回収、技術を要する学校行事に地域住民・団体が支援している。中学校においては、勤労体験学習、生徒の安全確保があげられている。

4 官公庁・企業・農協・漁協・商工会団体などからの支援・協力を得て実施している取組

(1) 集計結果

官公庁や企業等から支援・協力を得て実施している取組について実施数の多いものをあげる。小学校、中学校とも上位30。

《 小学校 》 表1-9 官公庁、企業等からの支援・協力を得て実施している取組—小学校

順位	内 容	ポイント	官公 企 業	
			庁	等
1	社会科見学(公共施設、工場、議会等)	338	177	161
2	避難訓練(地震・火災・不審者)の支援	231	207	24
3	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	223	203	20
4	社会科の暮らし(税金、裁判所、消防等)の講師	187	178	9
5	英会話の指導補助	147	146	1
6	国際交流・国際理解の講師	134	131	3
7	人工呼吸、心肺蘇生法、応急処置の指導	79	76	3
7	学校保健委員会の講師(おやつの正しいとり方等)	79	72	7
9	高齢者疑似体験の際の指導	71	62	9
10	社会科教材 「昔の道具」などの収集・提供	69	66	3
11	健康を害すること(喫煙・飲酒等)の防止啓発の講師	67	60	7
12	下水処理の啓蒙指導	60	55	5
13	福祉施設との交流の際の支援	58	29	29
14	バケツ稲の指導	57	9	48
15	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	55	24	31
16	調理指導(お菓子、郷土料理等)	54	35	19
17	エネルギー(新エネルギー含)教室の講師	53	24	29
17	人権教室の講師	53	50	3
19	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	52	40	12
19	お年寄りとの交流の際の支援	52	32	20
21	虫歯予防・歯磨き指導教室の講師	51	30	21
22	スキー・スケートの実技指導	50	33	17
22	学区内安全パトロール	50	48	2
24	自然環境調査(水、河川、浄化)の講師	47	40	7
25	総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	46	43	3
26	水産業学習の講師	43	19	24
27	縄文・弥生時代の学習についての講師	40	40	0
27	登下校の指導・安全確保	40	39	1
29	環境学習(産廃)の講師	37	33	4
30	手話、点字体験の際の指導	35	33	2

《 中学校 》 表1-10 官公庁、企業等からの支援・協力を得て実施している取組—中学校

順位	内 容	ポイント	官公 庁	企 業 等
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	179	73	106
2	薬物乱用防止教室の講師	96	89	7
3	避難訓練(地震・火災・不審者)の支援	83	78	5
4	人工呼吸、心肺蘇生法、応急処置の指導	59	58	1
5	交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)	55	53	2
6	健康を害すること(喫煙・飲酒等)の防止啓発の講師	53	48	5
7	乳幼児とのふれあい学習の際の支援	47	43	4
8	職業人、社会人による講話	40	20	20
9	不登校傾向生徒への相談活動及び学習支援	31	31	0
10	社会科見学(公共施設、工場、議会等)	28	14	14
11	英会話の指導補助	23	23	0
12	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	19	12	7
13	ふるさと学習(町の歴史・産業・自然について学ぶ)の講師	17	11	6
14	お年寄りとの交流の際の支援	16	7	9
15	福祉施設との交流の際の支援	15	7	8
15	高齢者疑似体験の際の指導	15	13	2
17	職業に関する授業の講師	14	9	5
18	冬の登下校の除雪、安全確保	13	10	3
19	学区内安全パトロール	12	12	0
20	虫歯予防・歯磨き指導教室の講師	11	8	3
21	社会科の暮らし(税金、裁判所、消防等)の講師	10	10	0
21	地域の企業による学習支援	10	3	7
21	総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	10	9	1
24	特別な配慮を必要とする児童の指導・補助	9	9	0
25	国際交流・国際理解の講師	8	7	1
25	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	8	6	2
25	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話対応等)の指導	8	4	4
28	地域の郷土史の講師	7	6	1
28	各界の経営者による講話	7	0	7
28	校舎・施設の補修	7	6	1
28	大会及び練習試合等の選手移動	7	5	2

(2) まとめ

地域との連携がある取組(実施率50%以上)の中で、官公庁、企業等からの支援・協力を得ている割合が高いものは、小学校では社会科見学(公共施設、工場、議会等)、避難訓練(地震・火災・不審者)の支援、交通安全教室(交通安全紙芝居、自転車の乗り方)、社会科の暮らし(税金、裁判所、消防等)の講師の4つの取組であった。

中学校では、職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ、薬物乱用防止教室の講師の2つの取組であった。

5 連携の分野と地区ごとの取組状況

(1) 集計結果

連携の分野でどのような取組が盛んなのかを、小学校と中学校において分析した。選択肢を7分野に再編した。

《連携の分野》

1 学習活動（教科領域等）

1 国語・総合, 2 算数・総合, 3 理科・環境・総合, 4 社会・総合, 5 体育・保健, 6 音楽, 7 図画工作・美術, 8 家庭・生活, 9 道徳, 10 国際理解, 11 放課後等学習, 12 学習その他

2 学習活動（体験等）

1 農業体験・生活・総合, 2 校外学習, 3 職場体験・勤労, 4 昔の暮らし・生活・総合, 5 福祉・総合, 12 学習その他

3 読み聞かせ・図書館支援

4 クラブ・部活動、総合等（文化・スポーツ活動）指導

1 文化, 2 郷土芸能・総合, 3 クラブ・部活動・総合等（文化活動）の指導, 4 クラブ・部活動等（スポーツ）の指導

5 環境整備

6 登下校・交通安全・防災指導

7 学校行事・特別行事、その他

1 学校行事・特別行事, 2 特別支援, 3 その他

① 各地区の分野ごとの延べ実施数

実施数の多い分野が各校での取組が盛んなものと思われる。

《 小学校 》 表1-11 各地区の分野ごとの延べ実施数—小学校

番号	分類	全県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
		364校 実施数	65校 実施数	55校 実施数	70校 実施数	62校 実施数	29校 実施数	83校 実施数
1	学習活動(教科領域等)	3,081	491	408	634	685	171	692
2	学習活動(体験等)	2,603	348	351	584	531	126	663
7	学校・特別行事、その他	1,885	349	257	389	360	122	408
6	登下校・交通安全・防災	1,867	356	246	361	348	121	435
5	環境整備	1,733	257	296	293	348	91	448
4	クラブ・部活動、総合等	1,310	159	142	322	258	76	353
3	読み聞かせ・図書館支援	532	112	69	90	120	21	120
	総計	13,011	2,072	1,769	2,673	2,650	728	3,119

《 中学校 》 表1-12 各地区の分野ごとの延べ実施数—中学校

番号	分類	全県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
		170校 実施数	29校 実施数	23校 実施数	31校 実施数	31校 実施数	16校 実施数	40校 実施数
1	学習活動(教科領域等)	648	98	78	166	105	61	140
4	クラブ・部活動、総合等	604	94	78	128	96	28	180
2	学習活動(体験等)	601	94	77	137	117	48	128
6	登下校・交通安全・防災	522	76	62	103	99	50	132

5	環境整備	483	74	65	70	98	36	140
7	学校・特別行事、その他	429	74	40	87	76	50	102
3	読み聞かせ・図書館支援	43	6	2	6	4	0	25
	総計	3,330	516	402	697	595	273	847

② 各地区当たりの総実施数に対するの分野ごとの割合

《 小学校 》 表1-13 各地区当たりの総実施数に対するの分野ごとの割合－小学校

番号	分類	全県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
		364校 %	65校 %	55校 %	70校 %	62校 %	29校 %	83校 %
1	学習活動(教科領域等)	23.7	23.7	23.1	23.7	25.8	23.5	22.2
2	学習活動(体験等)	20.0	16.8	19.8	21.8	20.0	17.3	21.3
7	学校・特別行事、その他	14.5	16.8	14.5	14.6	13.6	16.8	13.1
6	登下校・交通安全・防災	14.3	17.2	13.9	13.5	13.1	16.6	13.9
5	環境整備	13.3	12.4	16.7	11.0	13.1	12.5	14.4
4	クラブ・部活動、総合等	10.1	7.7	8.0	12.0	9.7	10.4	11.3
3	読み聞かせ・図書館支援	4.1	5.4	3.9	3.4	4.5	2.9	3.8
	総計	100.	100.	100.	100.	100.	100.	100.

《 中学校 》 表1-14 各地区当たりの総実施数に対するの分野ごとの割合－中学校

番号	分類	全県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
		170校 %	29校 %	23校 %	31校 %	31校 %	16校 %	40校 %
1	学習活動(教科領域等)	19.5	19.0	19.4	23.8	17.6	22.3	16.5
4	クラブ・部活動、総合等	18.1	18.2	19.4	18.4	16.1	10.3	21.3
2	学習活動(体験等)	18.0	18.2	19.2	19.7	19.7	17.6	15.1
6	登下校・交通安全・防災	15.7	14.7	15.4	14.8	16.6	18.3	15.6
5	環境整備	14.5	14.3	16.2	10.0	16.5	13.2	16.5
7	学校・特別行事、その他	12.9	14.3	10.0	12.5	12.8	18.3	12.0
3	読み聞かせ・図書館支援	1.3	1.2	0.5	0.9	0.7	0.0	3.0
	総計	100.	100.	100.	100.	100.	100.	100.

(2) まとめ

それぞれの分野の実施割合は、小学校、中学校とも全県集計と各地区の集計の間の大きな差が見られない。

6 連携の分野でみる1校当たりの実施数

(1) 集計結果

それぞれの分野の総実施数を学校数で割り、1校当たりの実施数の平均を算出した。これにより、どの地区が幅広い連携をしているのか、他地区と比較しての連携分野の傾向を知るためである。

《 小学校 》 表1-15 各分野の1校当たりの実施数－小学校

番号	分類	全県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
		364校	65校	55校	70校	62校	29校	83校
		1校分P	1校分P	1校分P	1校分P	1校分P	1校分P	1校分P
1	学習活動(教科領域等)	8.5	7.6	7.4	9.1	11.0	5.9	8.3
2	学習活動(体験等)	7.2	5.4	6.4	8.3	8.6	4.3	8.0
7	学校・特別行事、その他	5.2	5.4	4.7	5.6	5.8	4.2	4.9
6	登下校・交通安全・防災	5.1	5.5	4.5	5.2	5.6	4.2	5.2
5	環境整備	4.8	4.0	5.4	4.2	5.6	3.1	5.4
4	クラブ・部活動、総合等	3.6	2.4	2.6	4.6	4.2	2.6	4.3
3	読み聞かせ・図書館支援	1.5	1.7	1.3	1.3	1.9	0.7	1.4
	1校当たりの実施数	35.7	31.9	32.2	38.2	42.7	25.1	37.6

《 中学校 》 表1-16 各分野の1校当たりの実施数－中学校

番号	分類	全県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
		170校	29校	23校	31校	31校	16校	40校
		1校分P	1校分P	1校分P	1校分P	1校分P	1校分P	1校分P
1	学習活動(教科型)	3.8	3.4	3.4	5.4	3.4	3.8	3.5
4	クラブ・部活動、総合等	3.6	3.2	3.4	4.1	3.1	1.8	4.5
2	学習活動(体験型)	3.5	3.2	3.3	4.4	3.8	3.0	3.2
6	登下校・交通安全・防災	3.1	2.6	2.7	3.3	3.2	3.1	3.3
5	環境整備	2.8	2.6	2.8	2.3	3.2	2.3	3.5
7	学校・特別行事、その他	2.5	2.6	1.7	2.8	2.5	3.1	2.6
3	読み聞かせ・図書館	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.6
	1校当たりの実施数	19.6	17.8	17.5	22.5	19.2	17.1	21.2

1校当たりの平均実施数が多いということは、地域と連携した多種多様な取組が行われていることになる。次ページに、グラフを掲載する。

① 小学校での連携分野でみる1校当たりの実施数のグラフ

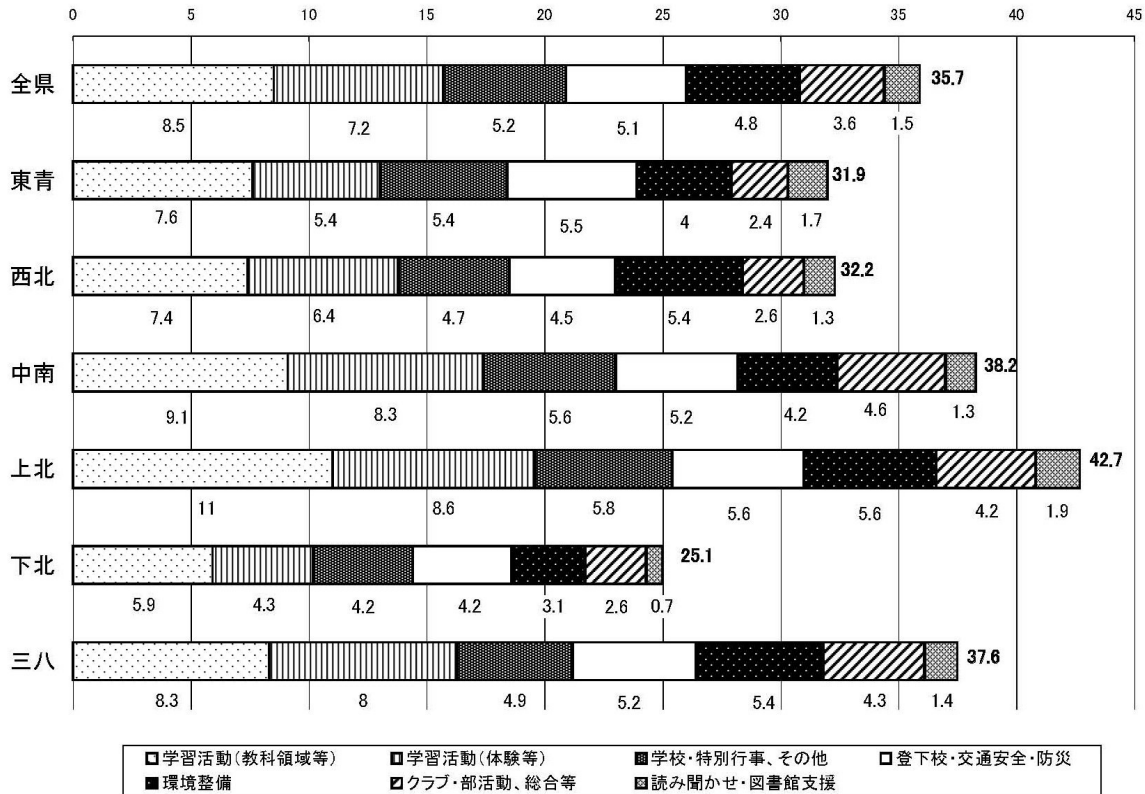


図1-1 各分野の1校当たりの実施数-小学校

② 小学校での1校当たりの実施数からみた各地区の傾向
それぞれの分野について、地区別の傾向を比較する。

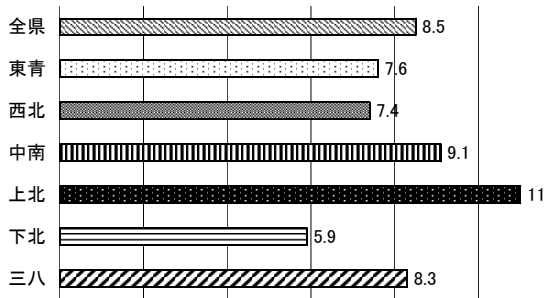


図1-2 学習活動(教科領域等)

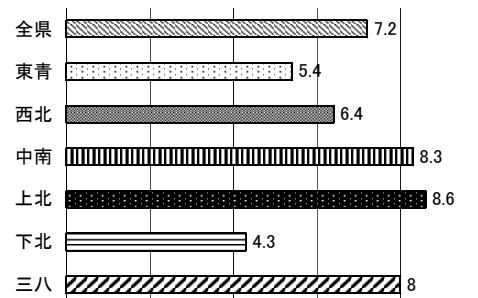


図1-3 学習活動(体験等)

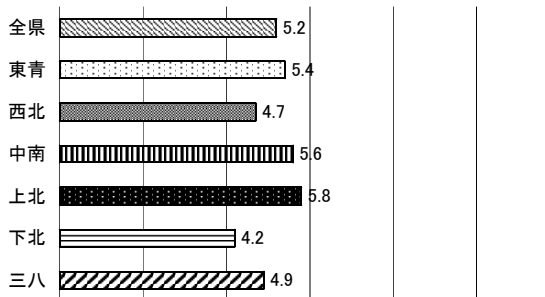


図1-4 学校・特別行事、その他

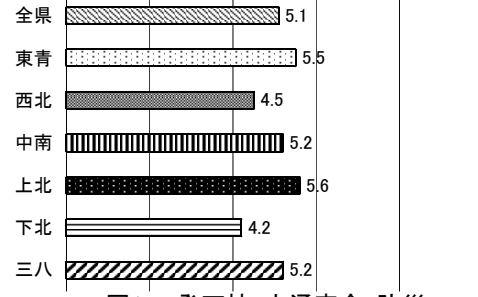


図1-5 登下校・交通安全・防災

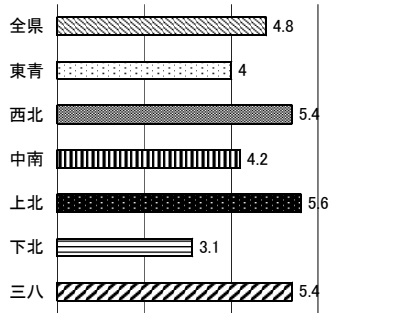


図1-6 環境整備

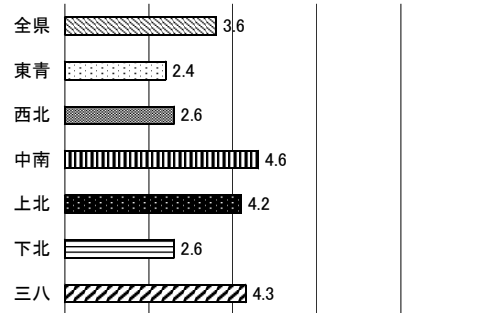


図1-7 クラブ・部活動、総合等

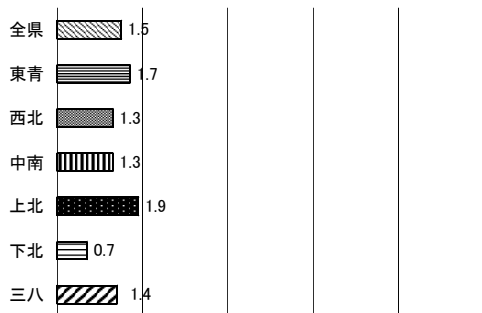


図1-8 読み聞かせ・図書館支援

③ 中学校での連携分野でみる1校当たりの実施数のグラフ

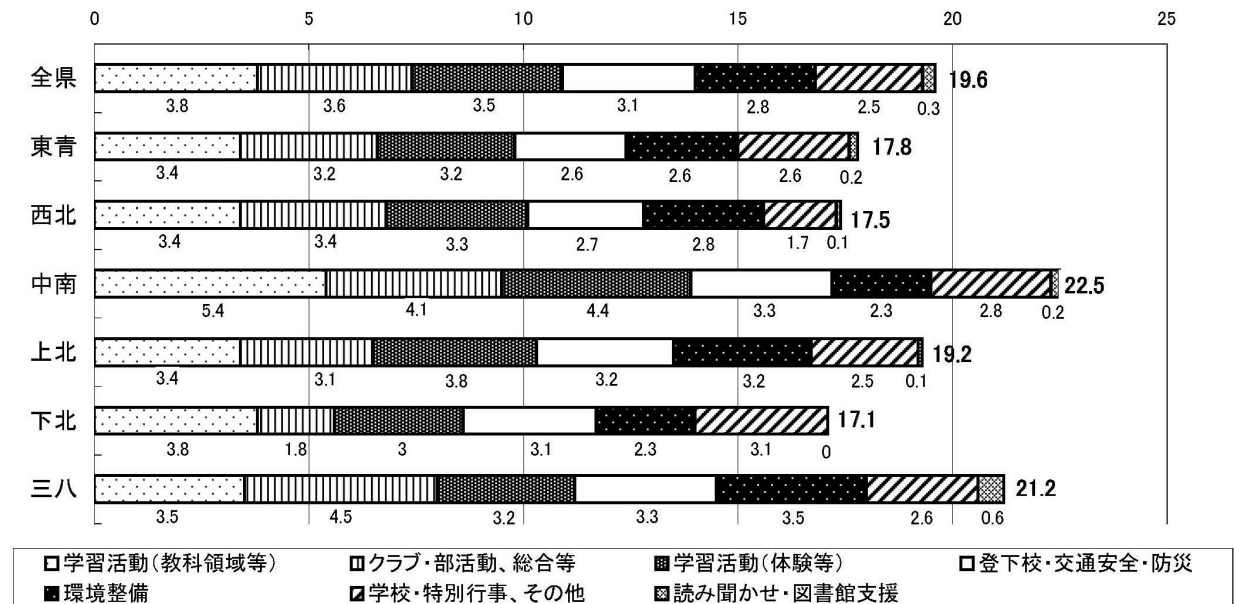


図1-9 各分野の1校当たりの実施数-中学校

④ 中学校での1校当たりの実施数からみた各地区の傾向
それぞれの分野について、地区別の傾向を比較する。

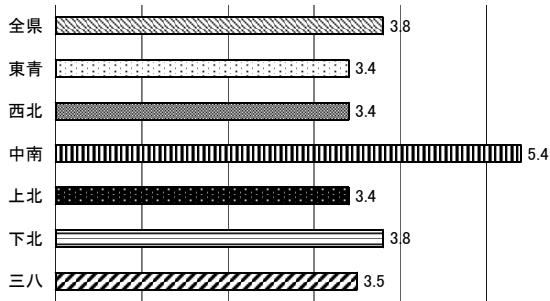


図1-10 学習活動(教科領域等)

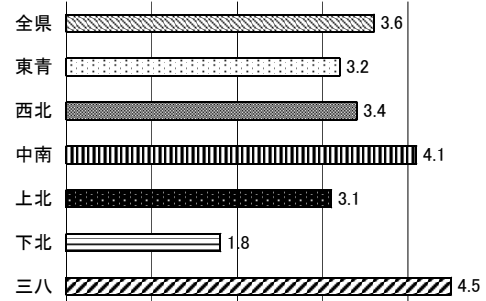


図1-11 クラブ・部活動、総合等

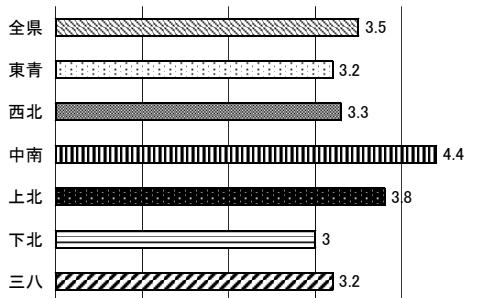


図1-12 学習活動(体験等)

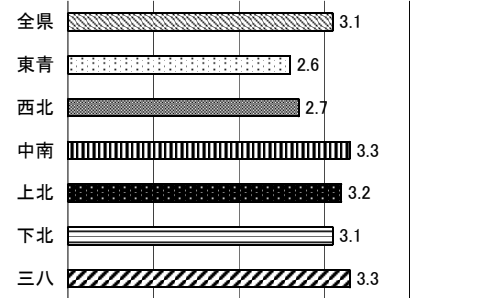


図1-13 登下校・交通安全・防災

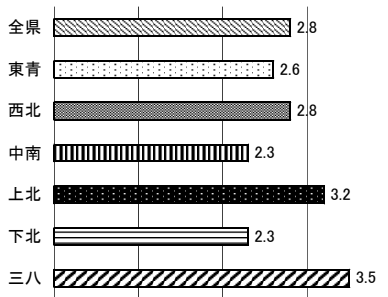


図1-14 環境整備

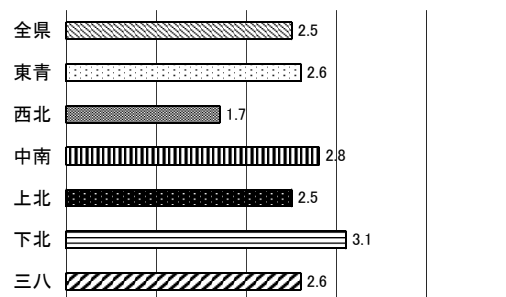


図1-15 学校・特別行事、その他

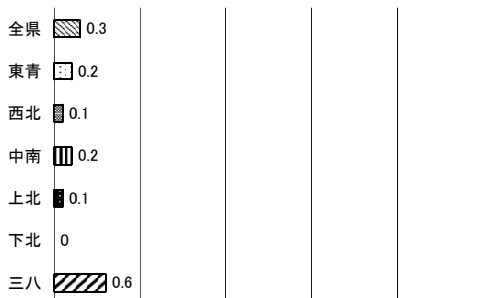


図1-16 読み聞かせ・図書館支援

(2) まとめ

小学校における1校当りの実施数を地区別に比較すると、上北、中南、三八地区が県平均を上回っている。中でも学習活動（強化領域等、体験等）における上北地区の数値が高くなっている。

中学校においては、中南、三八地区が県平均を上回っている。分野別では、学習活動（強化領域等、体験等）における中南地区、環境整備とクラブ・部活動等における三八地区の数値が高くなっている。

7 今後期待される学習活動を支援する取組

本県では、学習活動（教科領域等）、学習活動（体験等）の取組が積極的に行われているが、今後期待される取組としては、学習活動支援等があげられる。それら取組の実施状況を表示する。

《 小学校 》 表1-17 学習活動支援等今後期待できる取組の実施状況—小学校

内 容	実施数	実施率	順位
校外学習の引率・補助	186	51%	16
調理指導(お菓子、郷土料理等)	144	40%	28
お年寄りとの交流の際の支援	120	33%	37
福祉施設との交流の際の支援	109	30%	41
総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	99	27%	44
図書室の環境整備	89	24%	47
ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	86	24%	48
図書のリフォーム・修理	86	24%	48
音読学習の聞き役	73	20%	58
図書の登録・貸出	67	18%	60
児童・生徒による清掃活動の支援	65	18%	64
プール安全指導	58	16%	69
水泳実技指導	50	14%	79
学童クラブにおける家庭学習の支援	39	11%	95
豆腐・みそ・納豆づくりの指導	37	10%	102
特別な配慮を必要とする児童の指導・補助	37	10%	102
ドリルの丸付け	31	9%	114
親子遠足の運営手伝い	30	8%	117
不登校傾向生徒への相談活動及び学習支援	28	8%	122
ミシンの指導補助	27	7%	124
障害をもった子どもたちとの交流の際の支援	26	7%	130
バス遠足における支援	22	6%	145
乳幼児とのふれあい学習の際の支援	20	5%	152
給食指導・配膳補助	19	5%	155
参観日の学童保育	17	5%	161
放課後学習の指導補助	16	4%	165
算数・数学の学習補助	14	4%	169
長期休業中の学習補助	13	4%	176

《 中学校 》 表1-18 学習活動支援等今後期待できる取組の実施状況－中学校

内 容	実施数	実施率	順位
乳幼児とのふれあい学習の際の支援	63	37%	11
福祉施設との交流の際の支援	42	25%	23
ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	41	24%	24
お年寄りとの交流の際の支援	36	21%	29
不登校傾向生徒への相談活動及び学習支援	34	20%	30
調理指導(お菓子、郷土料理等)	27	16%	40
総合的な学習の時間(校外学習)の児童輸送・補助	23	14%	45
校外学習の引率・補助	17	10%	50
児童・生徒による清掃活動の支援	17	10%	50
特別な配慮を必要とする児童の指導・補助	15	9%	60
図書室の環境整備	14	8%	62
図書の登録・貸出	11	6%	72
親子遠足の運営手伝い	11	6%	72
障害をもった子どもたちとの交流の際の支援	8	5%	88
バス遠足における支援	7	4%	96
図書のリフォーム・修理	6	4%	109

8 設問以外の地域・家庭と連携した取組

設問以外に、調査対象校で地域や家庭と連携した取組がある場合は、その取組を記述してもらい、連携先を示してもらった。

自由記述項目は、第4章調査資料 4 設問以外の自由記述項目一覧 ① 第1部 連携状況調査 自由記述項目一覧 (P 55) を参照。

9 考察

本調査によって、学校が家庭・地域等と連携して実施している取組が、多種多様であることが確認された。第1部連携状況調査で選択肢とした事例以外に自由記述として回答されたものも多く、それを加えた取組事例の合計数は、小学校342、中学校282、高等学校189、特別支援学校108となっている。その中で実施率が10%以上の取組は小学校110、中学校56、高等学校58、特別支援学校41であった。

学校が地域と連携をしたり協力を得て実施している取組については、全体的な実施状況と保護者が関わる実施状況が似ていることから、学校と地域との連携・協力の中核が保護者であることがうかがえる。一方、児童・生徒の安全確保、読みきかせ、地域での体験学習の受入れ、体験学習等の講師、部活動・クラブ活動の指導などは地域住民との係わりが多く、学校が保護者だけではなく、地域住民からも様々な面で連携支援を受けている状況がわかる。

連携事例を分野ごとにおいて比較した場合、地区による実施割合に大きな差はなく、小学校、中学校とも本県の学校教育活動の必要性に合った取組がされていると見ることができるだろう。

1校当たりの平均実施数を見てみると、地区別による特徴があることがわかる。数値の高い地区は、実際に地域と連携した活動や支援が進んでいる地区と一致することから、保護者や地域住民の興味・意識、技能と学校側のニーズが合致して幅広

い取組の実施につながっていると思われる。

保護者や地域住民による学習活動の指導補助、運営支援などの取組の実施率は、50%に満たないものの、これらの取組は、支援協力者が児童・生徒と直接ふれあうことができ、活動者本人の充実感につながることで、教職員においても、学習の効率化や負担軽減につながるものである。すでにある程度、小学校・中学校において実施されており、今後さらに伸びることが期待される。

過去に行われた調査では、小学校に比べて中学校での取組が少ない傾向があったが、今回の調査では、中学校においても地域との連携による多様な教育活動が行われている実態が明らかになった。しかしながら、児童・生徒と直接関わる取組は、部活動・クラブ活動の指導を除けば多くは見られない。子どもから大人に向けて成長していく多感な時期にあって、親、教師以外の大人との関わりは、中学生にとって、精神的に大きな効用をもたらすものと考えられることから、中学校での学校支援ボランティア活動がより活発化することを期待したい。

第2部 連携ニーズ調査

I 第2部設定の理由

学校支援ボランティア活動を推進するに当たり、学校側のニーズをきちんとを把握し、コーディネートやマッチングをすることが望まれる。そのため、学校がどのような支援を望んでいるのかを調査することとした。

第2部では、調査対象校で既に実践されている取組以外について回答を求め、さらにそのニーズの度合いを3段階で表示してもらった。(つまり、現在実績がないが、今後ぜひ実施したいと考える取組)

II 設問項目の設定

第1部連携状況調査第2項目と同様に、各教育事務所社会教育主事、県教育庁学校教育課指導主事の協力を得て設問項目を作成した。

III 設問項目

設定された設問を下記のとおり分類した。第1部連携状況調査に比較して、どのような場面での支援を必要としているかを問う設問となっている。

《設問の分野》 ※設問の詳細は、第4章調査資料、調査様式参照。

- 1 学習活動への支援（ゲストティーチャー・授業の補助）
- 2 食育
- 3 小1年生へ
- 4 人権感覚の育成
- 5 国際理解
- 6 職業・勤労・進路
- 7 地域
- 8 夏季休業等
- 9 図書室支援
- 10 部活動
- 11 学校内外の環境整備
- 12 生徒指導他
- 13 学校行事
- 計 106 設問
- 14 自由記述

IV 設問の希望度合い

設定された設問について、そのニーズの度合いについて質問した。

- 1 できれば希望する
- 2 希望する
- 3 ぜひ、希望する

V 集計結果と分析

※ポイントについて

「1 できれば希望する」を1点、「2 希望する」を2点、「3 ぜひ、希望する」を3点としてポイントを計算した。

1 現在取り組んではいないが、今後実施を希望する取組

(1) 集計結果

それぞれの内容について、小学校と中学校はポイントの高い上位50をあげる。
高等学校と特別支援学校はポイントの高い上位20をあげる。

さらに、希望の有無の回答数と順位を表した。希望の有無の順位が低い、ポイントの順位が高い内容は、ニーズが強いことになる。

凡例 P順位は、「1 できれば希望する」を1点、「2 希望する」を2点、「3 ぜひ、希望する」を3点として計算値(ポイント)による順位。K順位は、希望があった学校数による順位である。

《 小学校 》 表2-1 今後実施を希望する取組—小学校

P 順位	K 順位	内 容	ポ イ ン ト	希 望 校 数
1	1	冬場の通学路の除雪	419	170
2	2	英語等を使ったコミュニケーションの体験、外国語学習	390	163
3	3	登下校する際の地域での声かけ、見守り	384	162
4	4	英語(英会話等)の講師	353	152
5	11	部活動の指導補助	302	121
6	5	木の剪定、庭木の手入れ	297	136
7	9	外国人との交流、国際理解	267	121
8	12	読み聞かせ、おはなし会	266	117
9	6	本の整理、補修	256	128
10	10	図書受入れ・データ入力、廃棄作業の補助	250	121
11	8	携帯電話など情報社会に対する情報モラル教育	230	123
12	24	スキー教室等の指導者	228	93
13	7	郷土の歴史や自然、人物、産業などの学習指導	223	124
14	23	地元の交番警察官による講演、交通安全指導	221	93
15	20	校内外の破損箇所の修繕	209	96
16	15	生活面の支援が必要な子への補助	207	104
17	14	理科の実験の準備、後片付け	202	106
18	25	集団下校の引率補助	200	92
18	28	校庭等の除草	200	90
20	27	花壇の整備	198	91
21	30	運動会等の会場設営・運営支援	197	82
22	16	環境教育(ECO、リサイクル、物づくり)の講師	187	100
23	17	職業人、社会人による講話	186	99
24	13	野外観察、実習学習の講師	182	112
25	26	食の安全について(インスタント食品、添加物、産地等)	177	91
26	43	プールでの監視等	176	69
26	49	部活動の引率補助、宿泊指導	176	64
28	21	昔の遊び方指導	169	95
29	19	行事等の写真、ビデオ撮影	168	97
30	18	家庭科実習(調理・裁縫等)の講師、指導補助	168	98
31	29	救急法の指導	161	82

32	35	卒業式等での盆栽の貸し出し	155	73
33	22	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	154	93
34	48	テント等の大道具運搬車両貸出、運搬支援	154	65
35	45	側溝の泥あげ	152	67
36	31	校外学習の引率	149	78
37	37	水泳指導(練習の仕方 他)	148	72
38	34	地域学習への企画・協力	143	74
38	38	教室、廊下等のワックスがけ	143	72
38	33	薬物乱用防止教室の講師	143	75
41	39	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	139	72
42	41	T・Tにおける指導補助	138	70
43	36	パソコンの操作	136	72
44	44	体育実技指導の講師や補助(サッカー、陸上、器械体操等)	134	68
45	52	用具の破損等の修繕	133	57
46	58	交通安全教室の運営支援	129	55
47	46	農業体験学習の指導	128	65
48	32	習字、書道の指導	123	77
48	47	世代間交流	123	65
50	53	自然体験活動の補助	120	57

《 中学校 》 表2-2 今後実施を希望する取組—中学校

P 順位	K 順位	内 容	ポ イ ン ト	希 望 校 数
1	1	携帯電話など情報社会に対する情報モラル教育	153	76
2	3	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	115	47
3	2	職業人、社会人による講話	112	69
4	4	冬場の通学路の除雪	107	45
5	5	薬物乱用防止教室の講師	84	44
6	6	部活動の指導補助	77	42
7	10	木の剪定、庭木の手入れ	71	33
7	15	地元の交番警察官による講演、交通安全指導	71	30
9	7	図書の受入れ・データ入力、廃棄作業の補助	66	36
10	8	校外学習実施のため受け入れ先開拓、連絡調整	64	34
11	14	花壇の整備	59	30
11	22	卒業式等での盆栽の貸し出し	59	27
13	12	本の整理、補修	58	32
14	17	生活面の支援が必要な子への補助	57	29
14	21	校庭等の除草	57	28
16	16	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	56	30
16	23	救急法の指導	56	26
18	9	食の安全について(インスタント食品、添加物、産地等)	54	33
18	11	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	54	32
20	19	医師、看護師による講演、健康指導	53	29
21	18	豊かな人間関係を築くこと	51	29
22	13	各界の経営者による講話	50	31

23	27	部員の保護者同士の連携等	44	22
24	24	校内外の破損箇所の修繕	43	25
24	28	T・Tにおける指導補助	43	21
26	20	行事等の写真、ビデオ撮影	41	28
26	26	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	41	22
28	25	郷土の歴史や自然、人物、産業などの学習指導	40	24
29	33	部活動の引率補助、宿泊指導	39	20
30	32	学校祭のバザー	38	21
31	29	環境教育(ECO、リサイクル、物づくり)の講師	37	21
32	30	郷土料理の指導	36	21
33	35	企業の人事担当者等による進路説明会	33	19
34	31	家庭科実習(調理・裁縫等)の講師、指導補助	32	21
34	38	放課後の個別指導の補助	32	16
36	41	側溝の泥あげ	31	15
37	42	音楽会の楽器運搬	30	15
38	34	学校備品等の修繕	29	20
38	36	思いやりの心の育成	29	17
38	39	高齢者へのいたわり	29	15
41	44	琴、尺八等(和楽器)の指導	28	14
42	37	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	25	16
42	46	教室、廊下等のワックスがけ	25	14
44	40	用具の破損等の修繕	24	15
44	45	農業体験学習の指導	24	14
44	52	校外学習の引率	24	12
47	50	地域のクラブ(社会人、小中学校)との連携	23	13
47	56	交通安全教室の運営支援	23	11
49	48	体育実技指導の講師や補助(サッカー、陸上、器械体操等)	22	13
49	49	保育の指導	22	13

《 高等学校 》 表2-3 今後実施を希望する取組—高等学校

P 順位	K 順位	内 容	ポ イ ン ト	希 望 校 数
1	1	携帯電話など情報社会に対する情報モラル教育	67	33
2	4	薬物乱用防止教室の講師	37	16
3	3	企業の人事担当者等による進路説明会	31	16
4	8	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	30	14
4	11	救急法の指導	30	12
6	5	職業人、社会人による講話	29	15
6	5	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	29	15
8	5	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	28	15
8	8	部活動の指導補助	28	14
10	8	医師、看護師による講演、健康指導	27	14
10	12	地元の交番警察官による講演、交通安全指導	27	11
12	2	各界の経営者による講話	25	17
13	13	卒業式等での盆栽の貸し出し	23	10

14	14	各教科の授業の中でのキャリア教育	17	9
15	(22)	交通安全教室の運営支援	13	5
16	15	金融教育、金銭教育の講師	12	8
16	15	学校祭のバザー	12	8
18	17	部員の保護者同士の連携等	10	7
18	(28)	スキー教室等の指導者	10	4
20	19	英語等を使ったコミュニケーションの体験、外国語学習	9	6
20	19	地域のクラブ(社会人、小中学校)との連携	9	6
20	(22)	ボランティア活動などの社会体験活動の際の支援	9	5
20	19	学校行事の企画への参画	9	6

《 特別支援学校 》 表2-4 今後実施を希望する取組－特別支援学校

P 順位	K 順位	内 容	ポ イ ン ト	希 望 校 数
1	1	冬場の通学路の除雪	12	7
2	2	校庭等の除草	11	5
3	2	農業体験学習の指導	7	5
3	6	地元の交番警察官による講演、交通安全指導	7	3
3	6	携帯電話など情報社会に対する情報モラル教育	7	3
3	4	学校祭のバザー	7	4
7	4	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話対応等)の指導	6	4
7	6	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	6	3
9	10	校外学習実施のため受け入れ先開拓、連絡調整	5	2
10	10	豊かな人間関係を築くこと	4	2
10	10	英語等を使ったコミュニケーションの体験、外国語学習	4	2
10	10	外国人との交流、国際理解	4	2
10	10	各教科の授業の中でのキャリア教育	4	2
10	6	職業人、社会人による講話	4	3
10	10	花壇の整備	4	2
10	10	救急法の指導	4	2
10	10	運動会等の会場設営・運営支援	4	2
18	10	留学生やアメリカンスクールとの交流の世話	3	2
18	10	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	3	2
18	10	企業の人事担当者等による進路説明会	3	2
18	10	金融教育、金銭教育の講師	3	2
18	10	医師、看護師による講演、健康指導	3	2
18	(48)	薬物乱用防止教室の講師	3	1
18	10	スキー教室等の指導者	3	2
18	(50)	テント等の大道具運搬車両貸出、運搬支援	3	1

(2) まとめ

今後実施を希望する取組については、小学校では、児童の安全確保、英語、部活動の指導補助、環境整備、読み聞かせ、図書館支援、携帯電話等情報モラル、郷土学習の講師、技術が必要な学校行事指導、生活面の支援が必要な子への補助、理科の実験の準備、後片づけが上位にあげられた。

中学校では、携帯電話等情報モラル、勤労体験学習・校外学習・社会体験活動、キャリア教育、生徒の安全確保、薬物乱用防止教室の講師、部活動の指導補助、環境整備、交通安全教室、図書館支援、生活面の支援が必要な子への補助、食の安全、健康指導が上位にあげられた。

高等学校、特別支援学校においての傾向は、中学校に類似している。

2 今後実施を希望する取組の分野ごとの数

(1) 集計結果

それぞれの分野について、県合計と6教育事務所管内に分けて回答数を集計し、回答数の多い順位と割合を分析する。県合計での連携ニーズの高い順に表記した結果は以下のとおり。

《 小学校 》 表2-5 今後実施を希望する取組の分野ごとの数—小学校

順位	分野	県合計	東青	西北	中南	上北	下北	三八
1	学習活動への支援	1,868	416	235	338	383	76	420
2	学校内外の環境整備	1,085	208	179	195	180	69	254
3	学校行事への支援	696	183	111	158	110	24	110
4	図書室支援	448	71	68	87	83	28	111
5	職業・勤労・進路	438	97	42	99	105	21	74
6	生徒指導他	428	96	47	95	69	24	97
7	部活動	342	92	51	55	49	21	74
8	小1年生へ	334	78	48	58	55	17	78
9	地域との交流	326	58	62	69	47	18	72
10	国際理解	284	58	31	71	47	10	67
11	人権感覚の育成	203	47	35	41	39	1	40
12	夏季休業等	155	24	21	39	28	4	39
13	食育	91	13	15	20	15	3	25
	計	6,698	1,441	945	1,325	1,210	316	1,461

《 中学校 》 表2-6 今後実施を希望する取組の分野ごとの数—中学校

順位	分類	県合計	東青	西北	中南	上北	下北	三八
1	学習活動への支援	317	18	64	85	46	26	78
2	職業・勤労・進路	291	40	41	73	56	21	60
3	学校内外の環境整備	266	24	65	54	27	18	78
4	学校行事への支援	194	21	38	47	27	20	41
5	生徒指導他	187	21	34	39	35	12	46
6	部活動	112	15	16	27	11	14	29
7	図書室支援	81	12	9	16	9	1	34
8	人権感覚の育成	71	14	10	21	9	0	17
9	地域との交流	38	4	4	14	5	6	5
10	食育	33	5	8	7	7	2	4
11	夏季休業等	31	1	6	9	1	1	13
12	国際理解	17	3	1	4	3	0	6
	計	1,638	178	296	396	236	121	411

(2) まとめ

小学校と中学校との実施希望の違いを見ると、小学校では、図書室支援の希望が多く、中学校では、職業・勤労・進路に対する希望が多い。また、登下校の声がけなどの児童・生徒の生活面に対する取組に対する希望が小学校では多く、中学校では少ない傾向がある。

3 今後実施を希望する取組の分野別割合と順位

(1) 集計結果

各地区ごとのそれぞれの分野の実施希望数を割合に換算し、各地区ごとの順位を算出した。

《 小学校 》 表2-7 今後実施を希望する取組の分野ごと割合と順位—小学校

分 野	全県		東青		西北		中南		上北		下北		三八	
	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	
学習活動への支援	27.9	1	28.9	1	24.9	1	25.5	1	31.7	1	24.1	1	28.7	1
学校内外の環境整備	16.2	2	14.4	2	18.9	2	14.7	2	14.9	2	21.8	2	17.4	2
学校行事への支援	10.4	3	12.7	3	11.7	3	11.9	3	9.1	3	7.6	4	7.5	4
図書室支援	6.7	4	4.9	8	7.2	4	6.6	6	6.9	5	8.9	3	7.6	3
職業・勤労・進路	6.5	5	6.7	4	4.4	9	7.5	4	8.7	4	6.6	6	5.1	8
生徒指導他	6.4	6	6.7	4	5.0	8	7.2	5	5.7	6	7.6	4	6.6	5
部活動	5.1	7	6.4	6	5.4	6	4.2	10	4.0	8	6.6	6	5.1	7
小1年生へ	5.0	8	5.4	7	5.1	7	4.4	9	4.5	7	5.4	9	5.3	6
地域との交流	4.9	9	4.0	9	6.6	5	5.2	8	3.9	9	5.7	8	4.9	9
国際理解	4.2	10	4.0	9	3.3	11	5.4	7	3.9	9	3.2	10	4.6	10
人権感覚の育成	3.0	11	3.3	11	3.7	10	3.1	11	3.2	11	0.3	13	2.7	11
夏季休業等	2.3	12	1.7	12	2.2	12	2.9	12	2.3	12	1.3	11	2.7	11
食育	1.4	13	0.9	13	1.6	13	1.5	13	1.2	13	0.9	12	1.7	13
計	100.		100.		100.		100.		100.		100.		100.	

《 中学校 》 表2-8 今後実施を希望する取組の分野ごと割合と順位—中学校

分 野	全県		東青		西北		中南		上北		下北		三八	
	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	%:順位	
学習活動への支援	19.4	1	10.1	2	21.6	1	21.5	1	19.5	2	21.5	1	19.0	1
職業・勤労・進路	17.8	2	22.5	1	13.9	3	18.4	2	23.7	1	17.4	2	14.6	3
学校内外の環境整備	16.2	3	13.5	3	22.0	2	13.6	3	11.4	4	14.9	4	19.0	1
学校行事への支援	11.8	4	11.8	4	12.8	4	11.9	4	11.4	4	16.5	3	10.0	5
生徒指導他	11.4	5	11.8	4	11.5	5	9.8	5	14.8	3	9.9	6	11.2	4
部活動	6.8	6	8.4	6	5.4	6	6.8	6	4.7	6	11.6	5	7.1	7
図書室支援	4.9	7	6.7	8	3.0	8	4.0	8	3.8	7	0.8	9	8.3	6
人権感覚の育成	4.3	8	7.9	7	3.4	7	5.3	7	3.8	7	0.0	12	4.1	8
地域との交流	2.3	9	2.2	10	1.4	11	3.5	9	2.1	10	5.0	7	1.2	11
食育	2.0	10	2.8	9	2.7	9	1.8	11	3.0	9	1.7	8	1.0	12
夏季休業等	1.9	11	0.6	13	2.0	10	2.3	10	0.4	12	0.8	9	3.2	9
国際理解	1.0	12	1.7	11	0.3	13	1.0	13	1.3	11	0.0	12	1.5	10
計	100.		100.		100.		100.		100.		100.		100.	

(2) まとめ

今後実施を希望する取組の分野は、小学校・中学校とも、学習活動への支援、学校内外の環境整備、学校行事への支援等が上位となっているが、それに加えて、小学校では図書室支援、中学校では職業・勤労。進路の順位が高くなっているのが特徴的である。地区による大きな違いは見られない。

4 設問以外の地域・家庭と連携する取組のニーズ

設問以外に、調査対象校で地域や家庭と連携する取組のニーズがある場合は、その取組を記述してもらい、ニーズの度合いを示してもらった。

自由記述項目は、第4章調査資料 4設問以外の自由記述項目一覧 ② 第2部 連携ニーズ調査 自由記述項目一覧 (P 59) を参照。

5 考察

現在実施はしてはいないが、保護者や地域住民からの支援を得て実施したいと考えている取組は、小学校では「学習指導要領の改訂に伴う外国語活動」に関するもの、部活動の指導、図書館支援、環境整備、理科の実験の準備・後かたづけがあげられた。中学校では、職業体験等の体験学習の受け入れ、部活動等の指導、環境整備、図書館支援があげられた。高等学校では、キャリア教育に関する取組、特別支援学校では、環境整備、キャリア教育に関する取組があげられた。

このような全県的なニーズ調査は初めての試みであるが、これを機に具体的な取組に発展することを期待したい。学校に地域から支援を受けたいというニーズがあり、学校を応援したいと考えている地域住民も多いといわれているが、それをどのように結びつけるかが今後の課題である。

今年度から実施されている学校支援地域本部事業においては、学校のニーズに地域が応える形で成功する例が多い反面、地域住民の要望が先である場合に学校が対応できない例も見られる。このことから、学校側が自校のニーズを明確にしたうえで、地域に対して情報発信していくことが、学校支援ボランティア活動の推進にとって重要であると考えられる。

第3部 キャリア教育に関するコーディネートについての調査

I 第3部設定の理由

学校支援の取組の中でも、本県の重要課題である人づくりの視点から注目をされているのが、キャリア教育である。キャリア教育を進めるに当たって、まずはキャリア教育に関する学校側の現状やニーズについて明らかにする必要があることから、第3部ではキャリア教育について、「コーディネートしてくれる人や機関が必要か」、さらに「どのようなコーディネートが必要か」という学校におけるニーズを調査することとした。

II 設定項目

《設 問》

- 1 職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ
- 2 各教科の授業の中でのキャリア教育
- 3 道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育
- 4 職業人、社会人による講話
- 5 各界の経営者による講話
- 6 企業の人事担当者等による進路説明会
- 7 金融教育、金銭教育の講師
- 8 ビジネスマナー（挨拶、立ち振る舞い、電話応対等）の指導
- 9 就職・進学指導（面接・容儀指導、小論文指導）

《コーディネートしてくれる人や機関が必要か》

- 1 必要なし（取り組む予定がないため）
- 2 必要なし（直接、依頼が可能である）
- 3 どちらともいえない
- 4 いた方がよい
- 5 ぜひ必要

※4と5を選択した場合、以下に進む。

《どのようなコーディネートが必要か》

- 1 指導者、講師等の人材の紹介
- 2 日程の調整
- 3 指導内容に関する調整
- 4 授業や活動内容の企画
- 5 当日の授業や活動の進行
- 6 その他

III 集計結果と分析

1 コーディネートのニーズがあるキャリア教育の集計結果

小学校において、回答「4 いた方がよい」と「5 ぜひ必要」を合算して、コーディネートのニーズのあるキャリア教育に関する取組は、以下のとおり。合わせて、ニーズのある学校の割合を表示する。

《 小学校 》 表3-1 コーディネートのニーズがあるキャリア教育－小学校

設問	内 容	回答4+回答5	(有)割合
4	職業人、社会人による講話	169	46%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	164	45%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	112	31%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	96	26%
7	金融教育、金銭教育の講師	87	24%
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	48	13%
5	各界の経営者による講話	45	12%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	15	4%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	12	3%

《 中学校 》 表3-2 コーディネートのニーズがあるキャリア教育－中学校

設問	内 容	回答4+回答5	(有)割合
4	職業人、社会人による講話	108	63%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	103	60%
5	各界の経営者による講話	62	36%
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	60	35%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	59	35%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	44	26%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	39	23%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	37	22%
7	金融教育、金銭教育の講師	28	16%

《 高等学校 》 表3-3 コーディネートのニーズがあるキャリア教育－高等学校

設問	内 容	回答4+回答5	(有)割合
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	31	44%
4	職業人、社会人による講話	28	39%
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	27	38%
5	各界の経営者による講話	23	32%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	23	32%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	23	32%
7	金融教育、金銭教育の講師	12	17%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	11	15%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	9	13%

《 特別支援学校 》 表3-4 コーディネートのニーズがあるキャリア教育－特別支援学校

設問	内 容	回答4+回答5	(有)割合
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	10	53%
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	10	53%
4	職業人、社会人による講話	8	42%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	8	42%
7	金融教育、金銭教育の講師	7	37%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	7	37%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	5	26%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	4	21%
5	各界の経営者による講話	4	21%

《 校種別 》 表3-5 コーディネートのニーズがあるキャリア教育—校種別

順位	小学校	中学校	高等学校	特別支援
1	職業人、社会人による講話	職業人、社会人による講話	職場見学、職場体験活動、インターンシップ	職場見学、職場体験活動、インターンシップ
2	道徳、特別活動等でのキャリア教育	職場見学、職場体験活動、インターンシップ	職業人、社会人による講話	ビジネスマナーの指導
3	各教科の授業の中でのキャリア教育	各界の経営者による講話	ビジネスマナーの指導	職業人、社会人による講話
4	職場見学、職場体験活動、インターンシップ	ビジネスマナーの指導	各界の経営者による講話	企業の人事担当者等による進路説明会
5	金融教育、金銭教育の講師	道徳、特別活動等でのキャリア教育	企業の人事担当者等による進路説明会	金融教育、金銭教育の講師
6	ビジネスマナーの指導	企業の人事担当者等による進路説明会	就職・進学指導	就職・進学指導
7	各界の経営者による講話	就職・進学指導	金融教育、金銭教育の講師	各教科の授業の中でのキャリア教育
8	企業の人事担当者等による進路説明会	各教科の授業の中でのキャリア教育	道徳、特別活動等でのキャリア教育	道徳、特別活動等でのキャリア教育
9	就職・進学指導	金融教育、金銭教育の講師	各教科の授業の中でのキャリア教育	各界の経営者による講話

2 コーディネートのニーズがないキャリア教育の集計結果

設問「1 必要なし（取り組む予定がないため）」と回答したコーディネートのニーズがないキャリア教育に関する取組は、以下のとおり。合わせて、ニーズのない学校の割合を表示する。

《 小学校 》 表3-6 コーディネートのニーズがないキャリア教育—小学校

設問	内 容	「なし」回答数	「なし」割合
9	就職・進学指導（面接・容疑指導、小論文指導）	264	73%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	258	71%
8	ビジネスマナー（挨拶、立ち振る舞い、電話応対等）の指導	207	57%
5	各界の経営者による講話	195	54%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	132	36%
7	金融教育、金銭教育の講師	106	29%
4	職業人、社会人による講話	59	16%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	58	16%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	19	5%

《 中学校 》 表3-7 コーディネートのニーズがないキャリア教育—中学校

設問	内 容	「なし」回答数	「なし」割合
7	金融教育、金銭教育の講師	65	38%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	57	33%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	49	29%
8	ビジネスマナー（挨拶、立ち振る舞い、電話応対等）の指導	44	26%

5	各界の経営者による講話	41	24%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	37	22%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	24	14%
4	職業人、社会人による講話	12	7%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	4	2%

《 高等学校 》 表3-8 コーディネートのニーズがないキャリア教育—高等学校

設問	内 容	「なし」回答数	「なし」割合
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	15	21%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	12	17%
7	金融教育、金銭教育の講師	9	13%
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	6	8%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	5	7%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	3	4%
5	各界の経営者による講話	2	3%
4	職業人、社会人による講話	1	1%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	0	0%

《 特別支援学校 》 表3-9 コーディネートのニーズがないキャリア教育—特別支援学校

設問	内 容	「なし」回答数	「なし」割合
5	各界の経営者による講話	8	42%
6	企業の人事担当者等による進路説明会	7	37%
9	就職・進学指導(面接・容疑指導、小論文指導)	6	32%
7	金融教育、金銭教育の講師	5	26%
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	4	21%
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	4	21%
4	職業人、社会人による講話	3	16%
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)の指導	3	16%
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の受け入れ	1	5%

3 キャリア教育でのコーディネートのニーズのまとめ

小、中、高、特別支援の各学校において、キャリア教育に関するコーディネートのニーズを比較すると、各校種とも「職業人・社会人による講話」に対するニーズが多い。中学校、高等学校、特別支援学校では「職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ」が上位となっている。中学校での「職業人・社会人による講話」、「職場見学・職場体験活動・インターンシップ等の受け入れ」が6割を超え、他校種に比べて高いのが目立つ。小学校では、授業の中でのキャリア教育に対するニーズが高く、他校種ではより実践的な取組に対するニーズが高い。

「(2)必要なし(直接依頼可能)」の回答を見ると、高校では、「就職・進学指導」について、43.7%の学校が「直接依頼可能」としている。また、「職場見学、職場体験活動、インターンシップ等」については、中学校で29.2%、高校では42.3%が「直接依頼可能」としており、これまでの蓄積があることをうかがわせる。

4 どのようなコーディネータが求められているのかについての集計結果

コーディネータのニーズのあるキャリア教育に関する取組について、どのようなコーディネータが求められるのかを質問した結果は、以下のとおり。

《 小学校 》 表3-10 ニーズがあるキャリア教育のコーディネータ内容－小学校

設問	内 容	(1) 人材紹 介	(2) 日程調 整	(3) 指導内 容調整	(4) 授業活動 内容企画	(5) 授業活 動進行
4	職業人、社会人による講話	147	49	49	53	30
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	121	48	67	74	39
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	79	22	39	56	25
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等受け入れ	75	33	26	35	20
7	金融教育、金銭教育の講師	66	18	28	41	22
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)指導	34	6	13	16	13
5	各界の経営者による講話	41	9	14	14	5
6	企業の人事担当者等による進路説明会	12	3	5	6	3
9	就職・進学指導(面接・容儀指導、小論文指導)	9	2	7	3	4
	計	584	190	248	298	161

《 中学校 》 表3-11 ニーズがあるキャリア教育のコーディネータ内容－中学校

設問	内 容	(1) 人材紹 介	(2) 日程調 整	(3) 指導内 容調整	(4) 授業活動 内容企画	(5) 授業活 動進行
4	職業人、社会人による講話	96	22	16	11	7
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等受け入れ	83	27	18	16	10
5	各界の経営者による講話	55	17	9	6	5
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)指導	46	10	14	9	11
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	45	13	15	19	8
6	企業の人事担当者等による進路説明会	34	8	11	5	8
9	就職・進学指導(面接・容儀指導、小論文指導)	32	7	10	4	2
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	26	6	10	11	5
7	金融教育、金銭教育の講師	23	7	6	4	5
	計	440	117	109	85	61

《 高等学校 》 表3-12 ニーズがあるキャリア教育のコーディネータ内容－高等学校

設問	内 容	(1) 人材紹 介	(2) 日程調 整	(3) 指導内 容調整	(4) 授業活動 内容企画	(5) 授業活 動進行
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等受け入れ	23	9	6	2	0
4	職業人、社会人による講話	27	4	6	1	1
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)指導	24	3	7	3	3
5	各界の経営者による講話	21	3	3	0	0
6	企業の人事担当者等による進路説明会	20	4	4	1	1
9	就職・進学指導(面接・容儀指導、小論文指導)	19	2	10	2	3
7	金融教育、金銭教育の講師	11	3	0	0	1

3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	9	0	4	3	1
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	6	0	3	1	1
	計	160	28	43	13	11

《 特別支援学校 》表3-13 ニーズがあるキャリア教育のコーディネータ内容－特別支援学校

設問	内 容	(1) 人材紹 介	(2) 日程調 整	(3) 指導内 容調整	(4) 授業活動 内容企画	(5) 授業活 動進行
1	職場見学、職場体験活動、インターンシップ等受け入れ	5	5	2	2	0
8	ビジネスマナー(挨拶、立ち振る舞い、電話応対等)指導	7	1	1	3	3
4	職業人、社会人による講話	6	0	1	1	1
6	企業の人事担当者等による進路説明会	5	1	1	1	2
7	金融教育、金銭教育の講師	6	1	1	1	2
9	就職・進学指導(面接・容儀指導、小論文指導)	4	0	1	1	1
2	各教科の授業の中でのキャリア教育	1	0	1	2	1
3	道徳、特別活動等の時間におけるキャリア教育	1	0	0	3	0
5	各界の経営者による講話	4	0	0	0	0
	計	39	8	8	14	10

5 どのようなコーディネータが求められているのかについてのまとめ

具体的なコーディネータの内容として、どの項目においても、「指導者、講師等の人材の紹介」を希望する学校が最も多い。「指導者、講師等の人材の紹介」以外に求めるコーディネータの内容は、校種によって特徴が異なり、小学校では「授業や活動内容の企画」や「指導内容に関する調整」、中学校では「指導内容に関する調整」や「日程の調整」、高校では「指導内容に関する調整」、特別支援学校では「授業や活動内容の企画」が、それぞれ多く求められる傾向にある。

第4部 家庭や地域の役割に関する意識調査

I 第4部設定の理由

都市化や少子化等が進行し社会が大きく変化する中、子どもの成長に際して、かつては家庭や地域が担っていたしつけ等まで、学校で指導せざるを得ない状況が生じている。子どもたちの健全な育成のためには、学校はもとより、家庭や地域もそれぞれの役割をきちんと果たすことが必要である。

学校、家庭、地域の具体的な役割分担については明確に定めることは困難であるものの、学校支援のあり方や今後の方向性を探るためにある程度の分担の目安が必要である。よって、今回は学校側の意識について調査することとした。

第4部では、児童・生徒の成長にとって必要だと思われる事柄をあげて、各設問について、学校だけではなく家庭や地域での教育の必要度合いについて質問した。

なお、この調査については、小・中学校のみを対象とし、高等学校と特別支援学校は対象としていない。

《主体となるべき度合い》

- 1 全面的に学校で
- 2 主に学校で
- 3 学校と家庭・地域の双方で
- 4 主に家庭・地域で
- 5 全面的に家庭・地域で

II 設問項目

設定された設問を下記のとおり分類した。

《設問の分野》 ※設問の詳細は、第4章調査資料、調査様式参照。

- 1 学習活動支援
- 2 生活習慣、家庭教育
- 3 金銭感覚
- 4 食育
- 5 日常生活・こころ
- 6 勤労体験関係
- 7 地域との交流
- 8 夏期休業
- 9 登下校、交通ルール
- 10 生徒指導
- 計 59設問
- 11 自由記述

III 集計結果と分析

1 学校でも指導するが家庭・地域で実施してほしい取組

※ポイントについて

「4 主に家庭・地域で」を1点、「5 全面的に家庭・地域で」を2点としてポイントを計算した。

(1) 集計結果

回答「4 主に家庭・地域で」、「5 全面的に家庭・地域で」との回答があった内容について、小学校、中学校ともポイントの上位30をあげる。

《 小学校 》 表4-1 家庭・地域で実施してほしい取組—小学校

順位	内 容	ポイント	(4) 主に	(5) 全面的に
1	風呂洗い	577	117	230
2	ごみ出し	490	162	164
3	家庭内(家族間)での挨拶実行	486	132	177
4	洗濯	472	160	156
5	家庭内でのお手伝いなどの役割分担	461	157	152
6	日常の買い物の体験	460	172	144
7	基本的に親のいうことをしっかり守れる子に	444	142	151
8	食事の準備の手伝い、後片付け	435	135	150
9	近所付き合い、地域の方との交わり方	410	204	103
9	スクールバス利用の際のバス停までの送り迎え	410	106	152
11	子どものラジオ体操の指導	407	175	116
12	箸の持ち方	403	151	126
13	家庭での基本的な規則的な生活習慣の獲得	401	149	126
14	ごみ収集場所へのごみの出し方	382	176	103
15	家庭での学校からの配付物(お便り、チラシ等)の確認	381	113	134
16	エレベーターの乗り降りの仕方	376	178	99
17	家庭での生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)の獲得	368	136	116
18	前日の寝る前に、学習用具をそろえることの習慣化	346	150	98
19	地域の祭りへの協力	314	174	70
20	計画的なお金の使い方(お小遣い、お年玉など)	307	167	70
21	通学路確保のための除雪	301	169	66
22	地域行事・地域活動への参加と積極的な誘い	286	180	53
23	時間の使い方(テレビやゲーム等での遊ぶ時間)	258	140	59
24	家庭における連絡帳の確実な確認	257	53	102
25	登校時の服装の確認・服装指導	238	110	64
26	夜間外出指導	237	99	69
27	頭髪(茶髪)指導	222	82	70
28	朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	206	86	60
29	サラリーマン金融の知識	202	88	57
30	登下校時の通学路安全サポート(見守り隊など)	175	145	15

《 中学校 》 表4-2 家庭・地域で実施してほしい取組—中学校

順位	内 容	ポイント	(4) 主に	(5) 全面的に
1	風呂洗い	283	41	121
2	洗濯	276	46	115
3	家庭内でのお手伝いなどの役割分担	254	54	100

4	箸の持ち方	240	54	93
5	家庭内(家族間)での挨拶実行	233	61	86
6	ごみ出し	230	62	84
7	食事の準備の手伝い、後片付け	220	52	84
8	日常の買い物の体験	219	73	73
9	ごみ収集場所へのごみの出し方	199	83	58
10	家庭での生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)の獲得	191	67	62
11	家庭での基本的な規則的な生活習慣の獲得	189	67	61
12	スクールバス利用の際のバス停までの送り迎え	187	51	68
13	計画的なお金の使い方(お小遣い、お年玉など)	186	68	59
14	基本的に親のいうことをしっかり守れる子に	183	61	61
15	子どものラジオ体操の指導	182	76	53
16	エレベーターの乗り降りの仕方	176	74	51
17	前日の寝る前に、学習用具をそろえることの習慣化	175	63	56
18	近所付き合い、地域の方との交わり方	169	97	36
19	家庭での学校からの配付物(お便り、チラシ等)の確認	129	47	41
20	時間の使い方(テレビやゲーム等での遊ぶ時間)	127	49	39
21	通学路確保のための除雪	125	67	29
22	地域の祭りへの協力	120	78	21
23	地域行事・地域活動への参加と積極的な誘い	114	80	17
24	朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	104	46	29
25	食事のマナー	96	42	27
26	家庭における連絡帳の確実な確認	93	33	30
27	児童公園での遊び方のルール(危険な遊び方が目に付く)	88	48	20
28	夜間外出指導	77	33	22
29	校外での生活指導(危険な遊びや迷惑のかかるような事)	52	34	9
30	登下校時の通学路安全サポート(見守り隊など)	51	43	4

(2) まとめ

小学校において、家庭での基本的、規則的な生活習慣の獲得(13位)、家庭での学校からの配付物の確認(15位)、家庭での生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)の獲得(17位)、前日の寝る前に学習用具をそろえることの習慣化(18位)が上位にはなっていない。

中学校においても、家庭での生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)の獲得(10位)、家庭での基本的な規則的な生活習慣の獲得(11位)、前日の寝る前に学習用具をそろえることの習慣化(17位)、家庭での学校からの配付物の確認(19位)が小学校と同様な傾向がある。中学校において、小学校では30位内に入っていない、計画的なお金の使い方(お小遣い、お年玉など)(13位)があげられている。

2 主に学校で指導するとされた取組

※ポイントについて

「1 全面的に学校で」を2点、「2 主に学校で」を1点としてポイントを計算した。

(1) 集計結果

回答「1 全面的に学校で」、「2 主に学校で」との回答があった内容について、小学校、中学校ともポイントの上位30をあげる。

《 小学校 》 表4-3 主に学校で指導するとされた取組—小学校

順位	内 容	ポイント	(1)	(2)
			全面的に	主に
1	宿題をやっているかどうかのチェック	102	26	50
2	音読、計算練習の確認(学習面)	98	22	54
3	しっかり話を聞こうとする態度	80	3	74
4	サラリーマン金融の知識	51	3	45
5	交通ルール of 指導	46	2	42
6	自転車の安全な乗り方とマナー	45	2	41
7	郷土の伝統や文化を重んじる気持ち	42	2	38
8	掃除、清掃の仕方	38	5	28
9	家庭における連絡帳の確実な確認	34	10	14
10	公共施設の利用の仕方	29	0	29
11	自然や環境を大切にすること	28	0	28
12	望ましい食生活の獲得(栄養バランス、好き嫌い、3食きちんと食べる)	27	2	23
13	禁煙指導	24	1	22
14	言葉遣い、あいさつ、返事の指導	22	0	22
14	朝の通学路の声掛け、あいさつ運動	22	0	22
16	公共でのマナーを身につけさせる	17	0	17
17	目上の人に対する言葉遣い	15	0	15
17	校外での生活指導(危険な遊びや迷惑のかかるような事)	15	1	13
17	頭髪(茶髪)指導	15	1	13
20	命を大切にすること	14	0	14
21	朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	13	2	9
22	夜間外出指導	11	1	9
23	物事の善悪を判断する力を育てること	10	0	10
23	社会のルールを守ること	10	1	8
23	児童公園での遊び方のルール(危険な遊び方が目に付く)	10	1	8
26	ものを大切にすること	9	0	9
26	登校時の服装の確認・服装指導	9	0	9
28	礼儀作法について	8	0	8
28	子どもの溜まり場の巡回	8	0	8
28	登下校時の通学路安全サポート(見守り隊など)	8	1	6
28	基本的生活習慣の習得	8	0	8

《 中学校 》 表4-4 主に学校で指導するとされた取組—中学校

順位	内 容	ポイント	(1)	(2)
			全面的に	主に
1	音読、計算練習の確認(学習面)	96	20	56
2	宿題をやっているかどうかのチェック	92	22	48
3	サラリーマン金融の知識	38	2	34

3	しっかり話を聞こうとする態度	38	2	34
5	自転車の安全な乗り方とマナー	30	2	26
6	家庭における連絡帳の確実な確認	24	7	10
6	交通ルールの指導	24	1	22
8	朝の通学路の声掛け、あいさつ運動	23	1	21
9	郷土の伝統や文化を重んじる気持ち	18	1	16
10	登校時の服装の確認・服装指導	16	2	12
11	掃除、清掃の仕方	15	2	11
11	礼儀作法について	15	1	13
13	自然や環境を大切にする気持ち	14	1	12
14	欲望を抑えたり、我慢することを身につける	13	1	11
14	社会のルールを守ること	13	1	11
16	目上の人に対する言葉遣い	12	2	8
16	言葉遣い、あいさつ、返事の指導	12	2	8
16	公共施設の利用の仕方	12	1	10
16	禁煙指導	12	1	10
20	家庭での学習習慣の形成	11	2	7
21	頭髪(茶髪)指導	10	1	8
22	日常生活マナー全般	9	2	5
22	ものを大切にする気持ち	9	1	7
22	校外での生活指導(危険な遊びや迷惑のかかるような事)	9	1	7
22	公共でのマナーを身につけさせる	9	1	7
22	子どもの溜まり場の巡回	9	1	7
27	家庭での学校からの配付物(お便り、チラシ等)の確認	8	2	4
28	望ましい食生活の獲得(栄養バランス、好き嫌い、3食きちんと食べる)	7	2	3
28	命を大切にする心を育てること	7	1	5
28	登下校時の通学路安全サポート(見守り隊など)	7	0	7
28	基本的な生活習慣の習得	7	1	5

(2) まとめ

小学校において、交通ルールの指導(5位)、自転車の安全な乗り方とマナー(6位)、掃除・清掃の仕方(8位)、家庭における連絡帳の確実な確認(9位)、公共施設の利用の仕方(10位)が上位にあげられている。

中学校においても、自転車の安全な乗り方とマナー(5位)、家庭における連絡帳の確実な確認(6位)、交通ルールの指導(6位)、掃除・清掃の仕方(11位)が上位にあげられている。また、小学校では28位の礼儀作法についてが11位となっている。

3 学校と家庭・地域の双方で指導するとされた取組

(1) 集計結果

回答「3 学校と家庭・地域の双方で」との回答があった内容について、小学校、中学校とも上位30をあげる。

《 小学校 》 表4-5 学校と家庭・地域の双方で指導するとされた取組—小学校

順位	内 容	(3) 学校と家庭・ 地域の双方で
1	命を大切にする心を育てること	334
2	物事の善悪を判断する力を育てること	330
3	ものを大切にする気持ち	324
4	自然や環境を大切にする気持ち	323
5	言葉遣い、あいさつ、返事の指導	309
6	社会のルールを守ること	308
7	郷土の伝統や文化を重んじる気持ち	303
8	交通ルールの指導	302
9	礼儀作法について	287
10	朝の通学路の声掛け、あいさつ運動	282
10	基本的な生活習慣の習得	282
12	欲望を抑えたり、我慢することを身につける	281
13	目上の人に対する言葉遣い	279
14	掃除、清掃の仕方	278
15	健康管理(風邪の予防・予防接種など)	276
16	自転車の安全な乗り方とマナー	274
17	日常生活マナー全般	272
18	しっかり話を聞こうとする態度。	272
19	公共施設の利用の仕方	270
20	家庭での学習習慣の形成	268
20	禁煙指導	268
22	公共でのマナーを身につけさせる	266
23	望ましい食生活の獲得 (栄養バランス、好き嫌い、3食きちんと食べるなど)	264
24	子どもの溜まり場の巡回	259
25	音読、計算練習の確認(学習面)	254
26	校外での生活指導 (危険な遊びや迷惑のかかるような事)	253
27	宿題をやっているかどうかのチェック	252
28	食事のマナー	228
28	児童公園での遊び方のルール(危険な遊び方が目に付く)	228
30	朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	202

《 中学校 》 表4-6 学校と家庭・地域の双方で指導するとされた取組—中学校

順位	内 容	(3) 学校と家庭・ 地域の双方で
1	命を大切にする心を育てること	150
2	物事の善悪を判断する力を育てること	147
3	自然や環境を大切にする気持ち	145
4	言葉遣い、あいさつ、返事の指導	144
5	子どもの溜まり場の巡回	141

6	社会のルールを守ること	140
7	交通ルールの指導	139
8	健康管理(風邪の予防・予防接種など)	138
9	郷土の伝統や文化を重んじる気持ち	134
9	公共でのマナーを身につけさせる	134
11	ものを大切にすること	133
11	基本的な生活習慣の習得	133
13	禁煙指導	132
14	自転車の安全な乗り方とマナー	131
15	公共施設の利用の仕方	130
16	目上の人に対する言葉遣い	127
16	礼儀作法について	127
18	家庭での学習習慣の形成	125
18	日常生活マナー全般	125
18	頭髪(茶髪)指導	125
21	朝の通学路の声掛け、あいさつ運動	124
22	しっかり話を聞こうとする態度。	123
22	欲望を抑えたり、我慢することを身につける	123
24	望ましい食生活の(栄養バランス、好き嫌い、3食きちんと食べるなど)獲得	122
25	掃除、清掃の仕方	119
26	登校時の服装の確認・服装指導	118
27	校外での生活指導(危険な遊びや迷惑のかかるような事)	115
28	登下校時の通学路安全サポート(見守り隊など)	110
29	夜間外出指導	105
30	食事のマナー	94

(2) まとめ

小学校、中学校ともに上位10について、共通した項目が多い。命を大切にすることを育てること(小1位・中1位)、物事の善悪を判断する力を育てること(小2位・中2位)、自然や環境を大切にすること(小4位・中3位)、言葉遣い・あいさつ・返事の指導(小5位・中4位)、社会のルールを守ること(小6位・中6位)、交通ルールの指導(小8位・中7位)、郷土の伝統や文化を重んじる気持ち(小7位・中9位)。

小学校において上位だった項目は、ものを大切にすること(3位)、礼儀作法について(9位)、朝の通学路の声掛け・あいさつ運動(10位)。

中学校において上位だった項目は、子どもの溜まり場の巡回(5位)、健康管理(風邪の予防・予防接種など)(8位)、公共でのマナーを身につけさせる(9位)。

4 小学校と中学校での違いがでた取組

(1) 集計結果

「全面的に及び主に家庭・地域で取り組んでほしいもの」、「全面的に及び主に学校で指導するとされた取組」、「学校と家庭・地域の双方で指導するとされた取組」に対して、小・中学校での違いについて着目した。小学校、中学校においての上位30の取組の順位点が3ポイント以上違いのある取組を小学校の順位が高いものから表した。差がプラスで出ているものは、小学校の順位が高く、中学校での順位は

低い。差がマイナスで出ているものは、逆に中学校の順位が高く、小学校の順位が低いことになる。

《 家庭・地域で取り組んでほしいもの 》 表4-7 小学校と中学校の意識の違い—家庭・地域で

内 容	小学校	中学校	差
	順位	順位	
ごみ出し	2	6	4
基本的に親のいうことをしっかり守れる子に	7	14	7
近所付き合い、地域の方との交わり方	9	18	9
子どものラジオ体操の指導	11	15	4
箸の持ち方	12	4	-8
ごみ収集場所へのごみの出し方	14	9	-5
家庭での学校からの配付物(お便り、チラシ等)の確認	15	19	4
家庭での生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)の獲得	17	10	-7
地域の祭りへの協力	19	22	3
計画的なお金の使い方(お小遣い、お年玉など)	20	13	-7
時間の使い方(テレビやゲーム等での遊ぶ時間)	23	20	-3
登校時の服装の確認・服装指導	25	(34)	9
頭髪(茶髪)指導	27	(35)	8
朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	28	24	-4
サラリーマン金融の知識	29	(36)	7
食事のマナー	(31)	25	-6
児童公園での遊び方のルール(危険な遊び方が目に付く)	(32)	27	-5
校外での生活指導(危険な遊びや迷惑のかかるような事をきちんと注意してほしい)	(35)	29	-6

《 主に学校で指導するとされた取組 》 表4-8 小学校と中学校の意識の違い—主に学校で

内 容	小学校	中学校	差
	順位	順位	
掃除、清掃の仕方	8	11	3
家庭における連絡帳の確実な確認	9	6	-3
公共施設の利用の仕方	10	18	8
望ましい食生活の獲得(栄養バランス、好き嫌い、3食きちんと食べる)	12	28	16
禁煙指導	13	19	6
言葉遣い、あいさつ、返事の指導	14	17	3
朝の通学路の声掛け、あいさつ運動	15	8	-7
公共でのマナーを身につけさせる	16	25	9
校外での生活指導(危険な遊びや迷惑のかかるような事)	18	24	6
命を大切にすることを育てること	20	29	9
朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	21	(35)	14
夜間外出指導	22	(33)	11
物事の善悪を判断する力を育てること	23	(39)	16
社会のルールを守ること	24	15	-9
児童公園での遊び方のルール(危険な遊び方が目に付く)	25	(40)	15
ものを大切にすること	26	23	-3

登校時の服装の確認・服装指導	27	10	-17
礼儀作法について	28	12	-16
子どもの溜まり場の巡回	29	26	-3
欲望を抑えたり、我慢することを身につける	(32)	14	-18
家庭での学校からの配付物(お便り、チラシ等)の確認	(35)	27	-8
家庭での学習習慣の形成	(38)	20	-18
日常生活マナー全般	(43)	22	-21

《 学校と家庭・地域の双方で指導するとされた取組 》

表4-9 小学校と中学校の意識の違い—学校と家庭・地域の双方で

内 容	小学校 順位	中学校 順位	差
ものを大切に作る気持ち	3	11	8
礼儀作法について	9	17	8
朝の通学路の声掛け、あいさつ運動	10	21	11
欲望を抑えたり、我慢することを身につける	12	23	11
目上の人に対する言葉遣い	13	16	3
掃除、清掃の仕方	14	25	11
健康管理(風邪の予防・予防接種など)	15	8	-7
しっかり話を聞こうとする態度。	18	22	4
公共施設の利用の仕方	19	15	-4
禁煙指導	21	13	-8
公共でのマナーを身につけさせる	22	10	-12
子どもの溜まり場の巡回	24	5	-19
音読、計算練習の確認(学習面)	25	(37)	12
宿題をやっているかどうかのチェック	27	(33)	6
児童公園での遊び方のルール(危険な遊び方が目に付く)	29	(32)	3
朝ご飯を毎朝食べさせる指導と必要性	30	(34)	4
登下校時の通学路安全サポート(見守り隊など)	(31)	28	-3
頭髪(茶髪)指導	(32)	20	-12
夜間外出指導	(34)	29	-5
登校時の服装の確認・服装指導	(35)	26	-9

(2) まとめ

「家庭や地域の役割に関する意識調査」において、小学校と中学校での違いが出たものをみると、総じて小学校では生活していくためのより基本的な事柄の順位が高い。

「全面的に及び主に家庭・地域で取り組んでほしいもの」では、ごみ出し、ごみ収集場所へのごみの出し方、箸の持ち方が小学校に比べて、中学校で上位にあげられている。また、基本的に親のいうことをしっかり守れる子に、近所付き合い・地域の方との交わり方が小学校で順位が高いのに対して、中学校ではそれほど高くない。

「全面的に及び主に学校で指導するとされた取組」では、公共施設の利用の仕方、公共でのマナーを身につけさせる、望ましい食生活の獲得については小学校の順位

が高い。一方、社会のルールを守ること、登校時の服装の確認・服装指導、礼儀作法について、欲望を抑えたり・我慢することを身につける、家庭での学習習慣の形成が中学校で順位が高く、小学校ではそれほどでもない。

「学校と家庭・地域の双方で指導するとされた取組」では、ものを大切にする気持ち、礼儀作法について、朝の通学路の声掛け・あいさつ運動、欲望を抑えたり・我慢することを身につけるについては、小学校の順位が高い。健康管理、禁煙指導、公共でのマナーを身につけさせる、子どもの溜まり場の巡回について、中学校での順位が高い。

5 設問以外の家庭・地域で実施してほしい取組

設問以外に、調査対象校で家庭・地域で実施してほしい取組がある場合は、その取組を記述してもらい、主体となるべき度合いを示してもらった。

自由記述項目は、第4章調査資料 4 設問以外の自由記述項目一覧 ③ 第4部 家庭と地域の役割に関する意識調査 自由記述項目一覧 (P 59) を参照。

6 考察

第4部については、調査対象である学校から、設問や調査の趣旨についての問い合わせが多かった。「学校での指導実態に合わせて回答すべきか、本来、家庭・地域でもっと指導すべきと考える、として回答すべきか。」というものである。このことから、学校側では学校で時間をかけて指導しているものの、もっと家庭や地域の力が必要だと考えていることがうかがえる。

「学校でも指導するが家庭・地域で実施してほしい取組」では、本来家庭内で取り組む必要が高いと思われる事柄についても、児童・生徒に対して、指導に時間をかけている実態が浮かび上がった。小学校においては、家庭での基本的な規則的な生活習慣の獲得 (13位)、家庭での学校からの配付物の確認 (15位)、家庭での生活リズム (早寝、早起き、朝ごはん) の獲得 (17位)、前日の寝る前に学習用具をそろえることの習慣化 (18位) についてが上位にはなっていない。これらについては、学校でもかなり指導しているものと思われる。

中学校においても、「学校でも指導するが家庭・地域で実施してほしい取組」で、家庭での生活リズム (早寝、早起き、朝ごはん) の獲得 (10位)、家庭での基本的な規則的な生活習慣の獲得 (11位)、前日の寝る前に学習用具をそろえることの習慣化 (17位)、家庭での学校からの配付物の確認 (19位) となっており、小学校と同様な傾向がある。

第5部 要約

- 1 本調査は、青森県教育委員会と青森県地域活性化推進委員会が共同で、平成19年度・平成20年度の学校と地域の連携による学校支援活動の実態を明らかにするために実施したものである。
- 2 調査対象は、市町村立小学校・中学校、県立高等学校附属中学校、県立高等学校、県立特別支援学校の合わせて625校である。
- 3 学校が地域との連携・支援を受けて実施している取組について、実施率10%以上の取組は、小学校110、中学校56、高等学校58、特別支援学校41であった。
- 4 県では、学習活動の支援や部活動、クラブ活動指導など、支援者が子どもたちと直接関わることができる学校支援活動を推進したいと考えている。まだ多くの学校で実施できるまでには至っていないが、今後の伸びが期待できる。
- 5 小学校、中学校が、地域と連携したり、協力を得て実施している取組について、全般的な実施状況と保護者が関わる実施状況が類似していることから、学校への支援は保護者が中核になって実施されていることが推察される。
しかしながら、児童・生徒の安全確保、読みきかせ、地域での体験学習の受入れ、体験学習等の講師、部活動・クラブ活動の指導などは地域住民との係わりが多く、学校が保護者だけではなく、地域住民からも様々な面で連携支援を受けている状況がわかった。
官公庁、企業等の支援を受けて実施している取組は、専門的な知識を活用するゲストティーチャーの取組や、児童・生徒の体験学習の受け入れなどが多い。
- 6 地域との連携・支援を求める学校側のニーズを調べたところ、小学校では外国語活動に関するもの、部活動の指導、図書館支援、環境整備、理科の実験の準備・後かたづけなどであり、中学校では、職業体験等の体験学習の受け入れ、部活動等の指導、環境整備、図書館支援があげられた。高等学校では、キャリア教育に関する取組、特別支援学校では、環境整備、キャリア教育に関する取組があげられた。
- 7 キャリア教育を進める上で重要な役割となるコーディネートについて調べたところ、人材の紹介についてのニーズが多かった。
- 8 児童・生徒の育成のために必要な事柄について、学校と地域・家庭の指導役割についての学校の意識を調べたところ、学校では家庭内で取り組む必要が高いと思われる事柄についても、児童・生徒に対して、指導に時間をかけている実態が浮かび上がった。